



月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

謹  
賀  
新  
年

発表! 第26回

杉野十佐一賞!

2022

1

**決定！第26回 杉野十佐一賞！** 4

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし 26

会員雑詠集「無人駅」 29

## ■例月句会結果■

おかじょうき川柳社 12月例句会 41

川柳吟行会「ぼ」 50

十和田たてがみ川柳会 11月句会報 47

## ■連載■

「深艘心理」 奈良一艘 40

Infomation 54～

# 杉野十佐一賞

題「変」

すぎのとさいち▼昭和26年におかじょうき川柳社を設立。没年の昭和54年まで初代代表として多くの作家を育成。永年にわたる川上三太郎との親交から童飛岬の三太郎句碑建立に尽力。  
【集計方法】点数は、各選者の特選を5点、秀逸3点、佳作1点とし、同点の場合、より高い位に選ばれているものが上位。

## ■第26回 杉野十佐一賞 大賞作品■

【11点（特）ちえみ（秀）政二（佳）れいこ・由紀子・むさし

### 電柱にかわってくれと頼まれる

### 中前棋人

（静岡県長泉町）



【受賞の言葉】

いやーどうもどうもです。これはもうクリビッツ！びっくりがひっくり返っているところ  
です。@@  
実は、受賞のメールを見落としていました。まあそれくらいこれは想定外のことでした。  
電柱には格別な思いがありまして、その電柱から、オレをそんなにけつ飛ばすな、オレ  
にかわってみろ、という声が聞こえてきて生まれかけた句です。  
これが十佐一賞に届いたのでしょか…。へこたれるな、折れるなという力をいただき  
ました。  
誠にありがとうございます。  
これからは電柱に抱きつくことに（おいおい大丈夫か）したいと思っています。(^o^)

電柱にかわって  
くれと頼まれる  
棋人

【準賞・10点】

(特) 由紀子(秀) れいこ(佳) 政二・ちえみ  
424回混ぜて変になる

東京都

飯島章友

【8点】

(特) 政二(秀) 由紀子  
ボウリング場にわたしの箸がない  
(秀) れいこ・むさし(佳) 政二・澄子  
さよならの明るいほうが酔芙蓉

茨城県

水城鉄茶

愛知県

瀧村小奈生

【7点】

(特) むさし(佳) 由紀子・ちえみ  
お静かにシカクがマルに変わります  
(特) 澄子(佳) 由紀子・ちえみ  
カブズナカブラカブラ変異蕪

愛媛県

郷田みや

岐阜県

早川柚香

【6点】

(秀) ちえみ(佳) れいこ・由紀子・澄子  
鶏頭の裏のあたりがちよつと変  
(秀) れいこ(佳) 由紀子・ちえみ・澄子  
でんぶんが沈んだころにあいましょう

滋賀県

峯 裕見子

静岡県

米山明日歌

(秀) むさし(佳) 澄子  
波乱つづきの今日を炒めておきましょう  
(秀) 澄子(佳) むさし  
本能寺の煙りに今もむせている  
(秀) 澄子(佳) ちえみ  
父さん入れて悲惨な色になるジュース  
(秀) 由紀子(佳) 政二  
いま生まれ変わるなら三ツ矢サイダー  
(秀) ちえみ(佳) むさし  
紫のさくら咲いたの秋ですもの  
(秀) 由紀子(佳) ちえみ  
変なとこでアカミミガメが手を振るの  
(秀) 澄子(佳) れいこ  
変色の月 返品試みる  
(秀) 澄子(佳) 由紀子  
韻の踏み方変顔の作り方  
(秀) ちえみ(佳) 澄子  
七変化 別料金になります  
(佳) 政二・ちえみ・澄子・むさし  
変ですわね悪いところがありません  
(佳) 政二・れいこ・ちえみ・澄子  
変わらないね水の部分を見せ合つて  
(佳) れいこ・由紀子・ちえみ・澄子  
七番が変な具合に効いている

福井県

天谷由紀子

富山県

板谷達彦

大阪府

浅井ゆず

兵庫県

妹尾 凜

青森県

高木まあこ

青森県

守田啓子

秋田県

一 帆

秋田県

赤石ゆう

岡山県

小林茂子

神奈川県

下村 修

愛知県

瀧村小奈生

滋賀県

重森恒雄

(秀) ちえみ(佳) 政二・れいこ・由紀子  
変わりはないかとブランコを揺さぶる  
(秀) 政二(佳) れいこ・由紀子・ちえみ  
崩れたらわたし金平糖になる  
(秀) 由紀子(佳) 政二・ちえみ・澄子  
じつにまあプラスチックな一日で

青森県

笹田かなえ

青森県

Jessica-Heart

【5点】

(特) れいこ  
マネキン家族つると不変です  
(秀) むさし(佳) ちえみ・澄子  
憎しみも薄れた ジーンズも褪せた  
(秀) ちえみ(佳) れいこ・澄子  
ひっそりとお酔いに変身する祖父母  
(秀) むさし(佳) 政二・れいこ  
日曜日ふつとわたしが冬になる  
(秀) 政二(佳) れいこ・由紀子  
流れゆく変わらぬ方を上にして

高知県

小野善江

秋田県

斎藤泰子

東京都

小沢 史

神奈川県

芝岡かんえもん

奈良県

柳本恵子

【4点】

(秀) 澄子(佳) むさし  
嘴の長さを変えて自白する  
(秀) 由紀子(佳) ちえみ  
変電所たぬきの皮が干してある

愛媛県

田中なお

福井県

酒井暁美

(佳) 政二・由紀子・ちえみ・むさし  
ウインカーは出したか髭は刺つたのか  
(佳) れいこ・由紀子・ちえみ・むさし  
さつきから奥歯に変が挟まつて  
(佳) 政二・れいこ・ちえみ・むさし  
へんてこにへんてこりんがかみついた

青森県

Jessica-Heart

大阪府

雨森茂喜

静岡県

中前棋人

(秀) れいこ  
こうちゃんの変身のあと仕舞われる  
(秀) 政二  
人として生まれたはずの信号機  
(秀) むさし  
抑え込んだ怒り文字化けしてしまう  
(秀) 政二  
虫が鳴く虫になれるか私泣く  
(秀) れいこ  
消失点追い消失点になり消  
(佳) 政二・れいこ・由紀子  
歯ブラシが一本消えて月おぼろ  
(佳) 由紀子・ちえみ・むさし  
毛布掛けても異音がするわ あなた  
(佳) 政二・澄子・むさし  
優しさでしようか日付がまた変わる

愛知県

青砥和子

茨城県

水城鉄茶

青森県

熊谷冬鼓

滋賀県

大谷のり子

東京都

辻 述

青森県

井上健蔵

愛媛県

湊 圭 伍

秋田県

佐々木智恵子



(佳) 政二・ちえみ・むさし

あなたですか背中に愛を入れたのは

京都府 市井美春

(佳) 政二・れいこ・由紀子

改心をして所詮は紙コップ

愛媛県 田中なお

(佳) れいこ・由紀子・むさし

ねぎらつてくれるマイナスドライバー

青森県 夏草ふぶき

(佳) 由紀子・ちえみ・むさし

変わるわよくすぐたたくて痛いけど

秋田県 赤石ゆう

(佳) 政二・ちえみ・むさし

包丁を握ると変な気が起こる

愛知県 松長 一步

(佳) 由紀子・ちえみ・澄子

これ以上タルトタタンを責めないで

兵庫県 黒田弥生

(佳) 由紀子・澄子・むさし

きれいなネと言つて 変色しますから

愛媛県 村山浩吉

(佳) ちえみ・澄子・むさし

ボクだよとルビンの壺を渡される

福井県 みつ木もも花

(佳) 政二・ちえみ・澄子

見つめている内に真つ直ぐになった

京都府 和田洋子

変な子ね 人間が怖いだなんて

秋田県 斎藤泰子

### 【2点】

(佳) 由紀子・澄子

トンカラリンヘンテコリンとしがらみる

北海道 河野潤々

(佳) れいこ・澄子

ペヤングの湯切りがもはや求道者

兵庫県 八上桐子

(佳) 政二・れいこ

口紅がとてもお外に出たがつて

京都府 河村啓子

(佳) れいこ・むさし

婆さんが夜と云うから今は夜

京都府 岩根彰子

(佳) 由紀子・澄子

ここまではフラットそこからキリギリス

福岡県 柴田美都

(佳) れいこ・ちえみ

もこもこツと産まれべにやりと暮らすなり

三重県 西脇祥貴

(佳) れいこ・由紀子

りをみな取り外し転生す

大阪府 浅井ゆず

(佳) ちえみ・澄子

雷に打たれてからはなんか変

大阪府 岸井ふさゑ

(佳) 由紀子・澄子

サ行なら変格してもいいのでは

愛媛県 土居新山

(佳) 政二・むさし

人になるまで回し続けている轆轤

神奈川県 芝岡かんえもん

(佳) れいこ・澄子

放生会变なところを光らせて

滋賀県 峯 裕見子

(佳) 政二・むさし

♫と♀たまに二つは入れ変わる

愛知県 松長 一步

(佳) 澄子・むさし

「混ぜるな危険」そんなわたしでよかつたら

愛媛県 大内せつ子

(佳) 由紀子・むさし

まがいものになるまでカサブランカだった

青森県 滋野さち

(佳) 政二・ちえみ

石ころがひとつも落ちていない道

秋田県 佐々木智恵子

(佳) れいこ・由紀子

変声期くりきんとんかみふうせん

千葉県 尾崎良仁

(佳) れいこ・澄子

約束はサ変待ちあぐねて力変

青森県 葉 閑女

(佳) 政二・むさし

変わつても変わらなくてもほらわたし

青森県 まき こ

(佳) 澄子・むさし

変換キー押し間違えて生き返る

大阪府 笠嶋恵美子

(佳) 政二・由紀子

ほんとかな風の後ろ側にまわる

東京都 藤田めぐみ

(佳) 澄子・むさし

長い長い橋の途中に甘味処

青森県 佐藤雅秀

(佳) 由紀子・澄子

金木犀テクマクマヤコン流星群

三重県 竹尾佳代子

(佳) 政二・れいこ

煮詰めると変わった僕の影が出来

青森県 坂本清乃

(佳) ちえみ・むさし

相変わらず雀カアカア泣いている

福井県 天谷由紀子

(佳) ちえみ・澄子

サロメから七つのヴェール渡される

兵庫県 黒田弥生

(佳) れいこ・むさし

喪が明ける滴が虹に変わるとき

青森県 村上あつこ

(佳) れいこ・澄子

じゅうぶんに変則的な夜明けです

東京都 はるのあきこ

(佳) 由紀子・ちえみ

うまそうな背中になつて逃げて行く

大阪府 川田由紀子

(佳) 由紀子・むさし

翅つけて昔はなかつたことにする

京都府 河村啓子

(佳) 由紀子・澄子

貧困者用無段階変速機

大阪府 小林康浩

(佳) ちえみ・むさし

なぜだろう行き交う星がみな刺さる

青森県 きざらぎ彼句吾

(佳) 由紀子・むさし

変身をしました消えてしまいました

福岡県 柴田美都

(佳) ちえみ・むさし

変化球受ければ電源が落ちる

福井県 みつ木もも花

(佳) 政二・ちえみ

変な家だ四角いスイカ出してくる

愛媛県 松木慎吾

(佳) 由紀子・ちえみ

政変の端にポツンと待合所

岡山県 小林茂子

(佳) 由紀子・ちえみ

一億人中九九九九九九九人は 変

北海道 浪越靖政

(佳) れいこ・澄子

側溝に変わり果てたる雨合羽

宮崎県 宮田 勉

(佳) れいこ・ちえみ

軋ませて曲げてゲイジツツらしくする

熊本県 いわさき楊子

(佳) れいこ・むさし

変異株よ止まれ名月ではないか

石川県 岡本 聡

(佳) 政二・由紀子

見える見えない見せられないがどこも変

岐阜県 早川 柚香

(佳) 由紀子・澄子

初恋の人と立ち入る変電所

長野県 西沢 葉火

(佳) 澄子・むさし

富士登山変二短調的だわね

愛知県 中川喜代子

【一点

名を変えるそつと薄紙剥ぐように

大阪府 峯島 妙

創世記 変な卵と変な種

大阪府 寺川 弘一

きつとみなコックピットをもっている

秋田県 佐藤 春子

変をすり抜けるアヴィニヨンの娘たち

奈良県 ひとり 静

墓は連結器 汽車好きの修司

東京都 宮本彩太郎

狂うこと忘れずにいる腕時計

新潟県 谷沢 けい子

ブルカの下で変わっていくジャスミン

青森県 滋野 さち

どうしても皆と同じでなきやダメか

岐阜県 海神 瑠珂

変ホ長調響かせている「ほ」の時間

鳥根県 石橋 芳山

変態の野原は自由席でした

三重県 西脇 祥貴

お隣のカレーの匂い事件よきつと

青森県 佐藤 雅秀

武士道も変異しながらゴミを出す

青森県 井上 健蔵

友だちのいない私は変ですか

千葉県 日下部敦世

水色の変異が気にかかる 多少

愛知県 安藤 なみ

仮面ライダーになりそこなつた変異株

青森県 きざらぎ彼句吾

お変わりはありませんかと書くジェラシー

愛知県 安井紀代子

夕焼けのきまり時代と共にある

青森県 岩崎眞里子

変異する脳細胞のプチプチ

京都府 木口 雅裕

パワードπに変えたよ 待つてろよ

大阪府 寺川 弘一

変身をするからと穴掘っている

京都府 山本知佳子

マスカラとぎよる目の仲はよく変わる

愛知県 安藤 なみ

見るからに変な鼻毛も飼育する

千葉県 隴

おもしろは変てこりんの進化形

兵庫県 中西南子

たつたひとつで変貌した地球よ

愛知県 稲垣 康江

アニメズのなごなみを説く蜥蜴

宮城県 勝又 明城

感動が変換されて雨の音

兵庫県 八上 桐子

変ですか愛してるって言えなくて

兵庫県 川西 則子

変口短調に大福叱られる

東京都 小沢 史

変わること変わらぬことも瓶の外

青森県 岩崎眞里子

変換したら突風になつちやつた

千葉県 尾崎 良仁

シャーレにて交わる可変的な家

岡山県 藤井 智史

変わるよりありのままで見つめられ

愛知県 稲垣 康江

ひとつだけヴィーナスの立つ帆立貝

鳥取県 斉尾 くにこ

また失くす変わりボタンの三番目

青森県 笹田 かなえ

老いてゆく速度落とせと笛を吹く

大阪府 山里 はるえ

このままでいいこのままでこのままで

青森県 田中 薫

むずむずと春に暴れる変電所

岡山県 藤井 智史

四日目にはひんやりと夕暮れのS

青森県 守田 啓子

変わらんでええよ蚯蚓はそのままで

兵庫県 猪塚 廣海

安達、井川：渡辺、青木、大久紙魚

北海道 河野 潤々

マヨネーズ下さい今朝の花らつきよ

岡山県 永見 心咲

一瞬を揺らしてきたよ変声期

奈良県 ひとり 静

脳内の変則五叉路つつきつて

熊本県 いわさき楊子

画素数を変えるときつと叶う夢

愛媛県 土居 新山

イメチェンの所々に加齢臭

青森県 ひ と は

変化球飛んでくるとはつゆ知らず

愛媛県 青野 舞

ガンダムも俺にも再度変声期

福井県 酒井 暁美

怖い怖い変化という物語

青森県 田中 薫

黒変のパナナの吐息 密ですよ

兵庫県 大山 ありる

シグナルが鳴り続けている心技体

青森県 ま き こ

生きててね茄子の漬物いい色に

大阪府 山里 はるえ

私に今貫入が始まった

徳島県 徳長 怜

母は今だまし絵の中遊んでる

大阪府 道家 えい子

ジャイアンへニューノーマルの雨が降る

福岡県 もりともみち

七変化リアルな僕を見失う

青森県 石澤 はる子

変声期過ぎると昼が怖くなる

滋賀県 北村 幸子

飲み込んだタイムカプセルから発芽

京都府 和田 洋子

アレンジをしながら生きた瓶の中

青森県 渡邊 こあき

変顔を笑い合ってる縄文人

高知県 小野 善江

変身願望 総入れ歯を外す

青森県 三浦 蒼鬼

燃料棒をクンクン嗅ぐのは変ですね  
いじめに合つて地球とうとう変になり  
会うことが変になつたら出来上がり  
ヘンシンと母は童女になつてゆく  
要するに个性的つて言うことね  
線状降水帯それつて 変ね  
変なおじさんがボクの町にも居る  
わたくしの水平線がゆがんでる  
温暖化へそが背中に回る変

青森県 笹田 隆志  
京都府 藤本 花枝  
千葉県 隴  
滋賀県 林 操  
青森県 まみどり  
石川県 岡本 聡  
東京都 上原 稔  
大阪府 道家 えい子  
兵庫県 猪塚 廣海



# 徳永政二選

とくながせいじ／滋賀県・「びわこ番傘川柳会」所属

## 【佳作】

424回混ぜて変になる  
 変な子ね 人間が怖いだなんて  
 ヘンシーンと母は童女になってゆく  
 いじめに合って地球とうとう変になり  
 変な家だ四角いスイカ出してくる  
 アレンジをしながら生きた瓶の中  
 七変化リアルな僕を見失う  
 母は今だまし絵の中遊んでる  
 生きててね茄子の漬物いい色に  
 見つめている内に真っ直ぐになった  
 包丁を握ると変な気が起こる  
 怖い怖い変化という物語  
 見える見えない見せられないがどこも変  
 変わっても変わらなくてもほらわたし  
 煮詰めると変わった僕の影が出来  
 あなたですか背中に愛を入れたのは  
 さよならの明るいほうが酔芙蓉

東京都 飯島章友  
 秋田県 斎藤泰子  
 滋賀県 林 操  
 京都府 藤本花枝  
 愛媛県 松木慎吾  
 青森県 渡邊こあき  
 青森県 石澤はる子  
 大阪府 道家えい子  
 大阪府 山里はるえ  
 京都府 和田洋子  
 愛知県 松長一步  
 青森県 田中 薫  
 岐阜県 早川 柚香  
 青森県 まき こ  
 青森県 坂本清乃  
 京都府 市井美春  
 愛知県 瀧村小奈生

へんてこにへんてこりんがかみついた  
 このままでいいこのままでこのままで  
 老いてゆく速度落とせと笛を吹く  
 変わるよりありのままでと見つめられ  
 変わることも変わらぬことも瓶の外  
 変です可愛してるって言えなくて  
 たったひとつで変貌した地球よ  
 おもしろは変てこりんの進化形  
 幽ブランチが一本消えて月おぼろ  
 ひとと早たまに二つは入れ変わる  
 日曜日ふつとわたしが冬になる  
 ほんとかな風の後ろ側にまわる  
 夕焼けのきまり時代と共にある  
 改心しても所詮は紙コップ  
 友だちのいない私は変ですか  
 石ころがひとつも落ちていない道  
 優しさでしようか日付がまた変わる  
 変です悪いところがありません

静岡県 中前 棋人  
 青森県 田中 薫  
 大阪府 山里はるえ  
 愛知県 稲垣康江  
 青森県 岩崎眞里子  
 兵庫県 川西則子  
 愛知県 稲垣康江  
 兵庫県 中西南子  
 青森県 井上健蔵  
 愛知県 松長一步  
 神奈川県 芝岡かんえもん  
 東京都 藤田めぐみ  
 青森県 岩崎眞里子  
 愛媛県 田中なお  
 千葉県 日下部敦世  
 秋田県 佐々木智恵子  
 秋田県 佐々木智恵子  
 神奈川県 下村 修

変わりはないかとブランコを揺さぶる  
 じつにまあプラスチックな一日で  
 口紅がともお外に出たがって  
 ウィンカーは出したか髪は剃ったのか  
 狂うこと忘れずにいる腕時計  
 いま生まれ変わるなら三ツ矢サイダー  
 人になるまで回し続けている轆轤  
 変わらないね水の部分を見せ合って  
 名を変えるそつと薄紙剥ぐように

青森県 笹田かなえ  
 徳島県 徳長 怜  
 京都府 河村啓子  
 青森県 Jessica heart  
 新潟県 谷沢けい子  
 兵庫県 妹尾 凜  
 神奈川県 芝岡かんえもん  
 愛知県 瀧村小奈生  
 大阪府 峯島 妙

## 【秀逸】

流れゆく変わらぬ方を上にして  
 虫が鳴く虫になれるか私泣く  
 虫が鳴く虫になれるか私泣く  
 人として生まれたはずの信号機  
 崩れたらわたし金平糖になる  
 電柱にかわつてくれと頼まれる

【特選】  
 ボウリング場にわたしの箸がない

奈良県 柳本恵子  
 滋賀県 大谷のり子  
 茨城県 水城 鉄茶  
 青森県 Jessica heart  
 静岡県 中前 棋人  
 茨城県 水城 鉄茶

## ◆選評

今回も課題「変」のおかげか、新しい、おもしろい句がたくさん集まった。全国でもめずらしいネットだけからの投句。このため、高齢者の参加が少なくなったのか、以前にくらべ、句幅が狭くなった。参加者の年齢の幅をひろげるいい方法があればと思う。

## 【秀逸】

流れゆく変わらぬ方を上にして  
 生きるためにくり返している大事なことは、そんなに大きく変わらぬ。作者はそのことを大切にしたいと

思っている。「上にして」がいい。  
**虫が鳴く虫になれるか私泣く**

人間がいくら泣いても虫にはなれない。不思議なことは、鳥の声もそうだが、人間に心地よく聞こえてくることである。  
**人として生まれたはずの信号機**  
 人間のことをよく考えて作られた信号機。だから我々の仲間である。そう思えば、信号は守らなければならぬ。

**崩れたらわたし金平糖になる**

「崩れたら」がおもしろい。  
 金平糖を作るには熟練した技術が必要である。また、その魅力あるかたちを思えば、こんな気持ちになる。

**電柱にかわつてくれと頼まれる**

両手をひっぱられるように立っている電柱を見上げてみると、とても無理だと思ふ。いくら頼まれても電柱にはなれない。お断りするしかない。

## 【特選】

**ボウリング場にわたしの箸がない**

ボウリング場でマイボールのように「わたしの箸がありません」と言えば、変な人と思われるだけである。もしかしたら「わかりました。すぐご用意します」と、係の人があらわれるかもしれない。





なかはられいこ 選  
なかはられいこ／岐阜県・「ねじまき句会」所属

【佳作】  
わたくしの水平線がゆがんでる  
変色の月 返品試みる  
会うことが変になったら出来上がり  
じゅうぶんに変則的な夜明けです  
変顔を笑い合ってる縄文人  
側溝に変わり果てたる雨合羽  
変声期過ぎると昼が怖くなる  
私に今貫人が始まった  
約束はサ変待ちあぐねて力変  
鶏頭の裏のあたりがちよつと変  
電柱にかわつてくれと頼まれる  
ガンダムも俺にも再度変声期  
軋ませて曲げてゲイジュツらしくする  
変わりはないかとブランドコを揺さぶる  
一瞬を揺らしてきたよ変声期  
変異株よ止まれ名月ではないか  
変わらないね水の部分を見せ合つて

大阪府 道家えい子  
秋田県 帆  
千葉県 朧  
東京都 はるのおきこ  
高知県 小野善江  
宮崎県 宮田 勉  
滋賀県 北村幸子  
徳島県 徳長 怜  
青森県 葉 閑女  
滋賀県 峯裕見子  
静岡県 中前 棋人  
福井県 酒井 暁美  
熊本県 いわさき楊子  
青森県 笹田かなえ  
奈良県 ひとり 静  
石川県 岡本 聡  
愛知県 瀧村小奈生

むずむずと春に暴れる変電所  
へんてこにへんてこりんがかみついた  
七番が変な具合に効いている  
崩れたらわたし金平糖になる  
bをみな取り外し転生す  
感動が変換されて雨の音  
喪が明ける滴が虹に変わるとき  
流れゆく変わらぬ方を上にして  
見るからに変な鼻毛も飼育する  
さつきから奥歯に変が挟まって  
放生会変なところを光らせて  
煮詰めると変わった僕の影が出来  
口紅がともお外に出たがつて  
改心をして所詮は紙コップ  
ひっそりとお酢に変身する祖父母  
武士道も変異しながらゴミを出す  
ねぎらつてくれるマイナズドライバー  
変態の野原は自由席でした

岡山県 藤井智史  
静岡県 中前 棋人  
滋賀県 重森恒雄  
青森県 Jessica heart  
大阪府 浅井ゆず  
兵庫県 八上桐子  
青森県 村上あつこ  
奈良県 柳本恵子  
千葉県 朧  
大阪府 雨森茂喜  
滋賀県 峯 裕見子  
青森県 坂本清乃  
京都府 河村啓子  
愛媛県 田中なお  
東京都 小沢 史  
青森県 井上 健蔵  
青森県 夏草ふぶき  
三重県 西脇祥貴

日曜日ふつとわたしが冬になる  
婆さんが夜と云うから今は夜  
歯ブラシが一本消えて月おぼろ  
もこもこツと産まれべにやりと暮らすなり  
変声期くりきんとんかみふうせん  
軋ませて曲げてゲイジュツらしくする  
婆さんが夜と云うから今は夜  
日曜日ふつとわたしが冬になる  
ペヤングの湯切りがもはや求道者

神奈川県 芝岡かんえもん  
京都府 岩根 彰子  
青森県 井上 健蔵  
三重県 西脇 祥貴  
千葉県 尾崎 良仁  
熊本県 いわさき楊子  
京都府 岩根 彰子  
神奈川県 芝岡かんえもん  
兵庫県 八上 桐子

【秀逸】  
消失点追い消失点になり消  
424回混ぜて変になる  
さよならの明るいほうが酔芙蓉  
でんぶんが沈んだころにあいましょう  
こうちゃんは変身のと仕舞われる

東京都 辻 述  
東京都 飯島 章友  
愛知県 瀧村小奈生  
静岡県 米山明日歌  
愛知県 青砥 和子  
高知県 小野 善江

◆選後感 「つるつるの世界」

特選 マネキン家族つるつると不変です

「つるつる」という言葉から、この一年わたしの指が触つたものについて考えた。アクリル板、スマホやタブレットの画面キーボード。みんなつるつるだ。アバターに姿を変え、液晶(こ)しに人に会う。そこには匂いも温度もない。温かくて柔らかな、孫たちの頬に触れなかった。友だちの手に触れなかった、肩を抱いたりできなかったことを今更のように思い出す。「つるつる」という、お茶目で明るい言葉も使われ方次第で不気味で不穏な言葉に変わる。あ、これも「変」だと思った。

秀逸5 こうちゃんは変身のと仕舞われる  
秀逸4 でんぶんが沈んだころにあいましょう  
秀逸3 さよならの明るいほうが酔芙蓉  
秀逸2 424回混ぜて変になる  
秀逸1 消失点追い消失点になり消

川柳は日々のなにげない暮らしから生まれる。だからとうぜん、秀逸の作品群にも「不穏」や「不安」や「孤」が底に沈んでいるのを感じるものが多くなった。それはせつかく変身してこれからという

時に「仕舞われる」ことであつたり、あえるのは「沈んだころ」であつたりする。「こうちゃん」の無念に誰も報いられない。やつと沈んだと思つたでんぶんは少しの間がはじまる。あえるときが遠のく。第五波だか第六波がきて。

それでもわたしたちはよろよろと歩み寄る。少しでも明るいさよならの方へ。酔芙蓉の薄い花びらは陽を透かし「さよなら」と「酔芙蓉」サ行の音が映像にほのあかるさをもたらす。

(全文はウェブサイトに掲載します)





# 樋口由紀子選

ひぐちゆきこ／兵庫県・「晴」編集発行人

## 【佳作】

変なおじさんがボクの町にも居る  
鶏頭の裏のあたりがちよっと変  
線状降水帯それって 変ね  
見える見えない見せられないがどこも変  
カブズナカブラカブラ変異蕪  
さつきから奥歯に変が挟まっつて  
ねぎらつてくれるマイナスドライバー  
政変の端にポツンと待合所  
流れゆく変わらぬ方を上にして  
変身をしました消えてしまいました  
黒変のバナナの吐息 密ですよ  
初恋の人と立ち入る変電所  
変声期くりきんとんかみふうせん  
うまそうな背中になって逃げて行く  
マヨネーズ下さい今朝の花らつきよ  
安達、井川；渡辺、青木、大久紙魚  
貧困者用無段階変速機

東京都 上原 稔  
滋賀県 峯 裕見子  
石川県 岡本 聡  
岐阜県 早川 柚香  
岐阜県 早川 柚香  
大阪府 雨森 茂喜  
青森県 夏草 ふうき  
岡山県 小林 茂子  
奈良県 柳本 恵子  
福岡県 柴田 美都  
兵庫県 大山 ありる  
長野県 西沢 葉火  
千葉県 尾崎 良仁  
大阪府 川田 由紀子  
岡山県 永見 心咲  
北海道 河野 潤々  
大阪府 小林 康浩

ほんとかな風の後ろ側にまわる  
一億人中九九九九九九九人は 変  
また失くす変わりボタンの三番目  
七番が変な具合に効いている  
変口短調に大福叱られる  
変わりはないかとブランコを揺さぶる  
毛布掛けても異音がするわ あなた  
これ以上タルトタンを責めないで  
改心しても所詮は紙コップ  
翅つけて昔はなかったことにする  
崩れたらわたし金平糖になる  
金木犀テクマクマヤコン流星群  
仮面ライダーになりそなた変異株  
サ行なら変格してもいいのでは  
電柱にかわつてくれと頼まれる  
歯ブラシが一本消えて月おぼろ  
変わるわよくすぐたたくて痛いけど  
ここまではフラットそこからキリギリス

東京都 藤田めぐみ  
北海道 浪越 靖政  
青森県 笹田かなえ  
滋賀県 重森 恒雄  
東京都 小沢 史  
青森県 笹田かなえ  
愛媛県 湊 圭伍  
兵庫県 黒田 弥生  
愛媛県 田中 なお  
京都府 河村 啓子  
青森県 Jessica-heart  
三重県 竹尾佳代子  
青森県 きさらぎ彼句吾  
愛媛県 土居 新山  
静岡県 中前 棋人  
青森県 井上 健蔵  
秋田県 赤石 ゆう  
福岡県 柴田 美都

変ホ長調響かせている「ほ」の時間

まがいものになるまでカサブランカだった  
ウインカーは出したか髪は剃ったのか  
きれいなエと言つて 変色しますから  
トンカリンヘンテコリンとしがらみる  
りをみな取り外し転生す  
でんぷんが沈んだころにあいましょう  
韻の踏み方変顔の作り方  
お静かにシカクがマルに変わります

島根県 石橋 芳山  
青森県 滋野 さち  
青森県 Jessica-heart  
愛媛県 村山 浩吉  
北海道 河野 潤々  
大阪府 浅井 ゆず  
静岡県 米山 明日歌  
秋田県 赤石 ゆう  
愛媛県 郷田 みや

## 【秀逸】

じつにまあプラスチックな一日で  
変なとこでアカミミガメが手を振るの  
いま生まれ変わるなら三ツ矢サイダー  
変電所たぬぎの皮が干してある  
ポウリング場にわたしの箸がない

徳島県 徳長 怜  
青森県 守田 啓子  
兵庫県 妹尾 凜  
福井県 酒井 曉美  
茨城県 水城 鉄茶

## 【特選】

424回混せて変になる

東京都 飯島 章友

## ◆選評◆

### 424回混せて変になる

「変」になるのはつくづくたいへんなことなのだと思つた。何せ、424回も混ぜなければならぬのだから。さぞや腕の方も「変」になったであろう。数え続けたのだろうか。語呂がいいのだろうか。決まりでもあるのだろうか。いやいや大嘘だろう。しかし、この嘘に騙されてみようと思う。「変」は混ぜたモノなのか、混ぜたヒトなのか。たぶんどつちもだろう。

### ポリング場にわたしの箸がない

ポリング場は公共の遊技場だから、マイボールやマイシューズはあつても、

マイ箸なんてあるはずがない。しかし、それがあたかもわたしの箸がないことを変であるようにいけしやあしやあとと言ひ募る。まさしく「変」である。

### 変電所たぬぎの皮が干してある

変電所は高い山の上にあることが多いので、その付近にはたぬぎも住んでいるだろう。ひよつとして、狩猟して、皮を干していることもあるかもしれない。しかし、「変電所」と「たぬぎの皮」の組み合わせはやつぱり「変」なのだ。

### いま生まれ変わるなら三ツ矢サイダー

「いま」が効いている。たぶん「いま」だけだからそう思つたのであつて、すぐ

に気は変わるだろう。三ツ矢サイダーの泡のようにシュワツと湧いて、すぐに消える。生まれ変わりたいものはたぶんいっぱいある。じっくり考えると美人とか金持ちとか俗っぽいものばかりをつい思い浮かべてしまう。しかし、いまは透明で深い「三ツ矢サイダー」がなんとカッコいいのかという心境なのだろう。

### 変なとこでアカミミガメが手を振るの

アカミミガメ自体にお目にかかったことがないのに、アカミミガメが手を振る姿を想像してみた。「変なところ」という場所よりも、その格好の方が絶対に「変」である。(全文はウエブサイトに掲載します)



ひろせちえみ／宮城県  
**広瀬ちえみ選**

【佳作】

変な子ね 人間が怖いდანんて  
 相変わらず雀カアカア泣いている  
 一億人中九九九九九九九人は 変  
 さつきから奥歯に変が挟まって  
 憎しみも薄れた ジーンズも褪せた  
 なぜだろう行き交う星がみな刺さる  
 ウィンカーは出したか髭は剃ったのか  
 軋ませて曲げてゲイジュツらしくする  
 シグナルが鳴り続けている心技体  
 崩れたらわたし金平糖になる  
 変なとこでアカミミガメが手を振るの  
 変化球飛んでくるとはつゆ知らず  
 包丁を握ると変な気が起ころ  
 これ以上タルトタタンを責めないで  
 政変の端にポツンと待合所  
 変わらんでええよ蚯蚓はそのままで  
 変化球受けければ電源が落ちる

- |     |               |
|-----|---------------|
| 秋田県 | 斎藤泰子          |
| 福井県 | 天谷由紀子         |
| 北海道 | 浪越靖政          |
| 大阪府 | 雨森茂喜          |
| 秋田県 | 斎藤泰子          |
| 青森県 | きさらぎ彼句吾       |
| 青森県 | Jessica-heart |
| 熊本県 | いわさき楊子        |
| 青森県 | まき こ          |
| 青森県 | Jessica-heart |
| 青森県 | 守田啓子          |
| 愛媛県 | 青野 舞          |
| 愛知県 | 松長 一步         |
| 兵庫県 | 黒田弥生          |
| 岡山県 | 小林茂子          |
| 兵庫県 | 猪塚廣海          |
| 福井県 | みつ木もも花        |

四日目にはひんやりと夕暮れのS  
 変な家だ四角いスイカ出してくる  
 お静かにシカクがマルに変わります  
 ボクだよとルビンの壺を渡される  
 カブスズナカブラカブラナ変異蕪  
 石ころがひとつも落ちていない道  
 見つめている内に真つ直ぐになった  
 うまそうな背中になつて逃げて行く  
 もこもこツと産まれべにやりと暮らすなり  
 変電所たぬきの皮が干してある  
 変身をするからと穴掘つてある  
 サロメから七つのヴェール渡される  
 へんてこにへんてこりんがかみついた  
 水色の変異が気にかかる 多少  
 変わるわよくすぐつたくて痛いけど  
 お隣のカレーの匂い事件よきつと  
 424回混ぜて変になる  
 変ですれ悪いところがありません

- |      |        |
|------|--------|
| 青森県  | 守田啓子   |
| 愛媛県  | 松木慎吾   |
| 愛媛県  | 郷田みや   |
| 福井県  | みつ木もも花 |
| 岐阜県  | 早川柚香   |
| 秋田県  | 佐々木智恵子 |
| 京都府  | 和田洋子   |
| 大阪府  | 川田由紀子  |
| 三重県  | 西脇祥貴   |
| 福井県  | 酒井暁美   |
| 京都府  | 山本知佳子  |
| 兵庫県  | 黒田弥生   |
| 静岡県  | 中前棋人   |
| 愛知県  | 安藤なみ   |
| 秋田県  | 赤石ゆう   |
| 青森県  | 佐藤雅秀   |
| 東京都  | 飯島章友   |
| 神奈川県 | 下村 修   |

七番が変な具合に効いている

あなたですか背中に愛を入れたのは  
 じつにまあプラスチックな一日で  
 雷に打たれてからはなんか変  
 でんぶんが沈んだころにあいましよう  
 毛布掛けても異音がするわ あなた  
 変わらないね水の部分を見せ合つて  
 父さん入れて悲惨な色になるジュース  
 きつとみなコックピットをもっている

- |     |       |
|-----|-------|
| 滋賀県 | 重森恒雄  |
| 京都府 | 市井美春  |
| 徳島県 | 徳長 怜  |
| 大阪府 | 岸井ふさゑ |
| 静岡県 | 米山明日歌 |
| 愛媛県 | 湊 圭伍  |
| 愛知県 | 瀧村小奈生 |
| 大阪府 | 浅井ゆづ  |
| 秋田県 | 佐藤春子  |

【秀逸】

七変化 別料金になります  
 ひっそりとお酢に変身する祖父母  
 紫のさくら咲いたの秋ですもの  
 変わりはないかとブランコを揺さぶる  
 鶏頭の裏のあたりがちよつと変

【特選】  
 電柱にかわつてくれと頼まれる

- |     |       |
|-----|-------|
| 岡山県 | 小林茂子  |
| 東京都 | 小沢 史  |
| 青森県 | 高木まあこ |
| 青森県 | 笹田かなえ |
| 滋賀県 | 峯 裕見子 |
| 静岡県 | 中前棋人  |

◆選評

今回は比較的選がスムーズにできたよ  
 うな気がします。それがいいのか悪いの  
 かわかりませんが、私の中での基準が定  
 めやすかったということです。  
 「変顔」が目についたのは、ユーチュウ  
 プ、SNSなどでこのコロナ禍の楽しみ  
 として流れていたからでしょうか。また  
 「変ホ長調」または「変ホ短調」「変口短調」  
 等の音楽用語が気になりました。それが  
 句のなかでどんな必然性があるのか、た  
 どえそこで切れて飛躍を生むための言葉  
 だとしても、読み手をざわざわさせるに  
 は難しさがあつたように思いました。

特選

電柱にかわつてくれと頼まれる  
 集句のなかで、一読明解でユーモアと  
 哀しみにあふれており、理屈でないおも  
 しろさがありました。電柱は電柱という  
 存在に、私は私という存在に、嫌気がさ  
 すことがあります。しかし、誰もが誰か  
 に代わつてあげることなど不可能なわけ  
 で、電柱は電柱を生きなければなりません。  
 そこにユーモアと哀切があることに  
 気づかせてくれた一句でした。

秀逸 鶏頭の裏のあたりがちよつと変

ニワトリなのか燃えるような色をした  
 ケイトウの花なのかわかりませんが、裏

にあたるちよつとした部分の違和感が、  
 日常を狂わせるほどではないけれど、結  
 構気になることです。耳の裏に湿疹がで  
 きちよつと変になるようなものでしょう  
 か。ちよつと変がこれからどんな変化を  
 するのか、しないのか暗示的です。

秀逸 ひっそりとお酢に変身する祖父母

古くなるとみんなお酢になるのです。  
 ワインだってビネガーに。ひっそりとい  
 つの間にかなるのです。お酢になったこ  
 とも知らないおじいさんおばあさんです。  
 人生を100年生きたお酢。奔放に生きた瀬  
 戸内寂聴もお酢になつていたと思います。



吉松澄子 選  
よしまつすみこ／愛媛県・第23・25回杉野十佐一賞受賞者

【佳作】

七変化 別料金になります  
初恋の人と立ち入る変電所  
要するに个性的って言うことね  
富士登山変二短調的だわね  
さよならの明るいほうが酔芙蓉  
変わらないね水の部分を見せ合つて  
きれいなネと言つて 変色しますから  
ジャイアンヘニューノーマルの雨が降る  
変換キー押し間違えて生き返る  
ひっそりとお酔に変身する祖父母  
見つめている内に真つ直ぐになつた  
ボクだよとルビンの壺を渡される  
画素数を変えるときつと叶う夢  
サロメから七つのヴェール渡される  
側溝に変わり果てたる雨合羽  
金木屋テクマクマヤコン流星群  
でんぶんが沈んだころにあいましょう

- 岡山県 小林茂子
- 長野県 西沢葉火
- 青森県 まみどり
- 愛知県 中川喜代子
- 愛知県 瀧村小奈生
- 愛媛県 村山浩吉
- 福岡県 もりともみち
- 大阪府 笠嶋恵美子
- 東京都 小沢 史
- 京都府 和田洋子
- 福井県 みつ木もも花
- 愛媛県 土居新山
- 兵庫県 黒田弥生
- 宮崎県 宮田 勉
- 三重県 竹尾佳代子
- 静岡県 米山明日歌

貧困者用無段階変速機

「混ぜるな危険」そんなわたしでよかつたら  
ひとつだけヴィーナスの立つ帆立貝  
シャーレにて交わる可変的な家  
波乱つづきの今日を炒めておきましょう  
雷に打たれてからはなんか変  
アニメズ的なさざなみを説く蜥蜴  
これ以上タルトタタンを責めないで  
変ですな悪いところがありません  
七番が変な具合に効いている  
鶏頭の裏のあたりがちよつと変  
変異する脳細胞のプチプチ  
優しさでしようか日付がまた変わる  
サ行なら変格してもいいのでは  
ここまではフラットそこからキリギリス  
放生会变なところを光らせて  
ペヤングの湯切りがもはや求道者  
長い長い橋の途中に甘味処

- 大阪府 小林康浩
- 愛媛県 大内せつ子
- 鳥取県 斉尾くにこ
- 岡山県 藤井智史
- 福井県 天谷由紀子
- 大阪府 岸井ふさゑ
- 宮城県 勝又明城
- 兵庫県 黒田弥生
- 神奈川県 下村 修
- 滋賀県 重森恒雄
- 滋賀県 峯 裕見子
- 京都府 木口雅裕
- 秋田県 佐々木智恵子
- 愛媛県 土居新山
- 福岡県 柴田美都
- 滋賀県 峯裕見子
- 兵庫県 八上桐子
- 青森県 佐藤雅秀

じゆうぶんに変則的な夜明けです

じつにまあプラスチックな一日で  
ブルカの下で変わつていくジャスミン  
憎しみも薄れた ジーンズも褪せた  
墓は連結器 汽車好きの修司  
約束はサ変持ちあぐねて力変  
トンカラリンヘンテコリンとしがらみる  
変をすり抜けるアヴィニヨンの娘たち  
創世記 変な卵と変な種

- 東京都 はるのあきこ
- 徳島県 徳長 怜
- 青森県 滋野さち
- 秋田県 斎藤泰子
- 東京都 宮本彩太郎
- 青森県 葉 閑女
- 北海道 河野潤々
- 奈良県 ひとり 静
- 大阪府 寺川弘一

【秀逸】

韻の踏み方変顔の作り方  
変色の月 返品試みる  
父さん入れて悲惨な色になるジュース  
本能寺の煙りに今もむせている  
嘴の長さを変えて自白する

- 秋田県 赤石ゆう
- 秋田県 一 帆
- 大阪府 浅井ゆず
- 富山県 板谷達彦
- 愛媛県 田中なお
- 岐阜県 早川柚香

◆選評

今回の題「変」はおもしろい作品が集まりました。つかみどころがないので、最後まで迷つて迷つて元氣になれたような感じがしています。

【秀逸】

韻の踏み方変顔の作り方  
この頃「変顔」を作つて笑わせるのが人  
気らしい。かわいく見せたい自分を捨てて  
別人になつてしまふのは勇気がいります。  
「韻の踏み方」との取り合わせで良いリズム  
ム感が生まれました。  
変色の月 返品試みる  
ネット注文の月が届きました。でも

本能寺の煙りに今もむせている

「今もむせている」の大袈裟な表現がおもしろい。あの時代に生まれなくてほんとうに良かったなと思います。  
いろいろありますが、なんとか今まで生きてこれたのは幸運でした。  
嘴の長さを変えて自白する  
「嘴の長さを変える」なんてありえない

【特選】

カブスズナカブラカブラナ変異蕪  
蕪の呼び方はさまざまあります。  
カブスズナ・・・と読んでいくとなん  
か蕪が変異していきような気分になりま  
す。変異株ではなくて変異蕪。言葉遊ぶ  
のは楽しい。今のこの時代だからその印  
象的な作品で心に残りました。変異株に負  
けないように明るい気持ちになれたらいい  
ですね。





むさし／青森県・おかじょうき川柳社代表

# むさし選

【佳作】  
 温暖化へそが背中に回る変  
 富士登山変二短調的だわね  
 変異株よ止まれ名月ではないか  
 燃料棒をクンクン嗅ぐのは変ですな  
 変身願望 総入れ歯を外す  
 へんてこにへんてこりんがかみついた  
 飲み込んだタイムカプセルから発芽  
 きれいなエと言つて 変色しますから  
 翅つけて昔はなかったことにする  
 変化球受ければ電源が落ちる  
 長い長い橋の途中に甘味処  
 イメチェンの所々に加齢臭  
 変わるわよくすぐつたくて痛いけど  
 脳内の変則五叉路つつきつて  
 本能寺の煙りに今もむせている  
 喪が明ける滴が虹に変わるとき  
 ウィンカーは出したか髭は剃ったのか

- |    |               |
|----|---------------|
| 兵庫 | 猪塚 廣海         |
| 愛知 | 中川 喜代子        |
| 石川 | 岡本 聡          |
| 青森 | 笹田 隆志         |
| 青森 | 三浦 蒼鬼         |
| 静岡 | 中前 棋人         |
| 京都 | 和田 洋子         |
| 愛媛 | 村山 浩吉         |
| 京都 | 河村 啓子         |
| 福井 | みつ木もも花        |
| 青森 | 佐藤 雅秀         |
| 青森 | ひと は          |
| 秋田 | 赤石 ゆう         |
| 熊本 | いわさき 楊子       |
| 富山 | 板谷 達彦         |
| 青森 | 村上 あつこ        |
| 青森 | Jessica heart |

ボクだよとルビンの壺を渡される  
 人になるまで回し続けている轆轤  
 まがいものになるまでカサブランカだった  
 変身をしました消えてしまいました  
 変換したら突風になっちゃった  
 紫のさくら咲いたの秋ですもの  
 嘴の長さを変えて自白する  
 なぜだろう行き交う星がみな刺さる  
 優しさでしようか日付がまた変わる  
 マスカラとぎよる目の仲はよく変わる  
 毛布掛けても異音がするわ あなた  
 パスワードπに変えたよ 待つてろよ  
 お変わりはありませんかと書くジェラシー  
 婆さんが夜と云うから今は夜  
 変な子ね 人間が怖いだなんて  
 ひととまたまに二つは入れ変わる  
 変わっても変わらなくてもほらわたし  
 あなたですか背中に愛を入れたのは

- |     |          |
|-----|----------|
| 福井  | みつ木もも花   |
| 神奈川 | 芝岡かんえもん  |
| 青森  | 滋野 さち    |
| 福岡  | 柴田 美都    |
| 千葉  | 尾崎 良仁    |
| 青森  | 高木 まあこ   |
| 愛媛  | 田中 なお    |
| 青森  | きさらぎ 彼句吾 |
| 秋田  | 佐々木 智恵子  |
| 愛知  | 安藤 なみ    |
| 愛媛  | 湊 圭伍     |
| 大阪  | 寺川 弘一    |
| 愛知  | 安井 紀代子   |
| 京都  | 岩根 彰子    |
| 秋田  | 斎藤 泰子    |
| 愛知  | 松長 一步    |
| 青森  | ま き こ    |
| 京都  | 市井 美春    |

さつきから奥歯に変が挟まって  
 どうしても皆と同じでなきやダメか  
 ねぎらつてくれるマイナスドライバー  
 変換キー押し間違えて生き返る  
 「混ぜるな危険」そんなわたしでよかつたら  
 電柱にかわつてくれと頼まれる  
 相変わらず雀カアカア泣いている  
 変ですな悪いところがありません  
 包丁を握ると変な気が起こる

- |     |        |
|-----|--------|
| 大阪  | 雨森 茂喜  |
| 岐阜  | 海神 瑠珂  |
| 青森  | 夏草 ふぶき |
| 大阪  | 笠嶋 恵美子 |
| 愛媛  | 大内 せつ子 |
| 静岡  | 中前 棋人  |
| 福井  | 天谷 由紀子 |
| 神奈川 | 下村 修   |
| 愛知  | 松長 一步  |

【秀逸】  
 日曜日ふつとわたしが冬になる  
 憎しみも薄れた ジーンズも褪せた  
 抑え込んだ怒り文字化けしてしまう  
 波乱つづきの今日を炒めておきましょう  
 さよならの明るいほうが酔芙蓉

- |     |         |
|-----|---------|
| 神奈川 | 芝岡かんえもん |
| 秋田  | 斎藤 泰子   |
| 青森  | 熊谷 冬鼓   |
| 福井  | 天谷 由紀子  |
| 愛知  | 瀧村 小奈生  |
| 愛媛  | 郷田 みや   |

◆選評  
 第26回杉野十佐一賞にたくさん作品  
 をお寄せいただきました。  
 この場をお借りし深く感謝を申しあげ  
 ます。  
 お陰様で「変」な句が320句集まりました  
 (笑)

世は新型コロナウイルスの時代。  
 多くの方が感染を避けるため旅行など  
 に出掛けることもなく家に引きこもつて  
 いるのではないのでしょうか。  
 この「家」に引きこもるといふことは、  
 裏返して考えると川柳を作るにはほどよ  
 い環境で、今回の応募は新型コロナウイルス  
 に関連する句が目が痛くなるほど多  
 くなるのではないかと思いました。

ところが、3句しかありません(笑)

特選 お静かにシカクがマルに変わります  
 最初この句を見たとき、どうして「お  
 静かに四角が丸に変わります」ではない  
 のだろうと思いました。  
 広辞苑で、「しかく」を引くと出てくる  
 のは「四角」「死角」「刺客」「始覚」「指画」  
 「視角」「視覚」「詞答」「詩答」「詩格」「資  
 格」「然く」「爾く」です。  
 一方の「まる」は「丸・円」だけ。  
 そこで、「丸・円」にびつたりの「しかく」  
 はどれかと考えるとやはり「四角」です。  
 四角四面の実に堅苦しいやつが突然穏  
 やかな丸い人になる、そんな意味の句だ  
 と考えれば心にストンと落ちるのですが、  
 それでは「変」な句になりません。

そこで作者は漢字の「四角」「丸」にす  
 るという選択を除外したと思われま  
 す。  
 では、漢字の「四角」「丸」とカタカナ  
 の「シカク」「マル」はどう違うのでし  
 ょう。  
 読み上げられたこの句を聞くと、「シカ  
 ク」「マル」が漢字で書かれているか、ひ  
 らがなやカタカナで書かれているかは分  
 かりません。恐らく、漢字で書かれてい  
 ると受け取る方が多いのではないでし  
 ゃうか。

でも、選者は文字を見て句を選びます。  
 漢字で書かれたものと、ひらがなやカ  
 タカナで書かれたものとは明らかに違  
 ったものとして読みます。  
 句を読んで鑑賞するのと、聞いて鑑賞  
 するのでは違いがあるのです。  
 (全文はウェブサイトに掲載します)





# 第26回 杉野十佐一賞 応募者ご芳名

【北海道⑤】 落合魯忠 河野潤々 澤野優美子 浪越靖政 四ツ屋いずみ	高木まあこ 田中薫 旅男 月波与生 土田雅子 夏草ふぶき ひとは	佐々木智恵子 佐藤春子 佐渡真紀子 田久保亜蘭	上原稔 小沢史 辻述 はるのあきこ	【福井県③】 天谷由紀子 酒井曉美 みつ木もも花	中川喜代子 猫田千恵子 松長一步 丸山進	蟹口和枝 河村啓子 木口雅裕 木戸利枝 谷口文	【兵庫県⑥】 山里はるえ 猪塚廣海 大山ありる 川西則子	【愛媛県⑩】 青野舞 大内せつ子 郷田みや 田中なお
【青森県29】 Jessica-heart 石澤はる子 稲見則彦 井上健蔵 岩崎眞里子 きさらぎ彼句吾	まきこ まみどり 三浦蒼鬼 村上あつこ 守田啓子 葉閑女 吉田吹喜 渡邊こあき	水城鉄茶 石澤三笑 【茨城県②】 藤田めぐみ 藤井ちより	宮本彩太郎 山田こいし 【群馬県①】 白衣洞正美 【埼玉県②】 織田和子 野邊富優葉	【長野県②】 早川柚香 海神瑠珂 【静岡県③】 佐野由利子 中前棋人 米山明日歌	安井紀代子 三好光明 藤本花枝 山本知佳子 和田洋子	浅井ゆず 雨森茂喜 小川佳恵 小原由佳 笠嶋恵美子 川田由紀子 岸井ふさゑ	【鳥取県①】 柳本恵子 【福岡県③】 柴田美都 城後朱美 もりともみち	【徳島県①】 徳長 怜 【徳島県①】 徳長 怜
【宮城県①】 勝又明城 【秋田県⑦】 赤石ゆう 一 帆 斎藤泰子	【千葉県④】 尾崎良仁 日下部敦世 【富山県①】 板谷達彦 【石川県④】 石倉多美子 岡本 聡 中川 洋子 藤村 容子	【東京都⑩】 飯島章友 伊藤こうか しんちゃん	【新潟県①】 谷沢けい子 【新潟県①】 関 苦朗 【神奈川県③】 芝岡かんえもん 下村 修 【岐阜県②】 丸山健三 西沢葉火	【愛知県⑫】 青砥和子 安藤なみ 稲垣康江 瀧村小奈生 長岡みゆき	【三重県③】 竹尾佳代子 西脇祥貴 山口亜都子 【滋賀県⑥】 大谷のり子 北村幸子 重森恒雄 中島順子 林 操 峯 裕見子	【大阪府⑬】 藤本花枝 山本知佳子 和田洋子 浅井ゆず 雨森茂喜 小川佳恵 小原由佳 笠嶋恵美子 川田由紀子 岸井ふさゑ	【広島県①】 藤井智史 永見心咲 小林茂子 【宮崎県①】 宮田 勉	【徳島県①】 徳長 怜

## 課題と選者 (2句詠・共選)

題：『短』  
2/28 〆切

選者  
徳長 玲 (徳島県)  
むさし (青森県)

## 投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

### 【ウェブサイトからの応募】

http://okajoki.com/toku/0line.html へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



### 【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、守田啓子宛にメール送信してください。<送信先アドレス：moriko@okajoki.com>

## 投句料 (※おかじょうき川柳社会員は無料です。)

1,000円 (発表誌呈) \*発表誌の送付をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

## 賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

# カンテラ

むかし

2021年はコロナ、コロナであったという間に過ぎてしまいました。

今、新たな変異株「オミクロン株」が不気味な動きを見せていますが、そんなものに負けない川柳社でありたいと思っています。

2022年も何卒よろしくお願いします。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

## A群

おばあさんと呼ばれても振りむかぬ	村上てる
物の怪も泣き虫も棲む胸の底	斎藤泰子
金魚とは昔話しができそつだ	辻井洋子
何もせぬうちにまた来た金曜日	村井規子
嫉妬かなジェラシーかもな尾氈骨	瀧尻善英
キラキラのまま遺影になりなさい	三浦蒼鬼
お豆腐がしずまぬうちにだす答え	米山明日歌
秒針を失くしてからの永い冬	土田雅子

何度洗っても取れぬ母のヌルヌル

村上あつこ

困ったな想定外のバスが来る

渡邊こあき

笑えたら私は風になれるのよ

夏草ぶぶき

夏草ぶぶきさん、「風になれる」っていいですね。しかも、「笑えたら」「風になれる」だからそんなに難しくなさそう。でも、人間いつでも笑えるわけではないから、ぶぶきさんもいつでも風になれるわけではないよね。

## B群

ラッパ吹くあちらこちらの落とし穴	須藤しんのすけ
待つことが祈りの一つだとしたら	まみどり
火炎土器共鳴するのやめてよね	ひとり静
捕まったことはないのよ鬼ごっこ	まきこ
恋人は伸身2回ひねりなり	芝岡かんえもん
言葉飲み込むみねこが集うところ	守田啓子

キズにまとわりつく泥沼の視線	きざらぎ彼句吾
一月の胡瓜一本買ってくる	熊谷冬鼓
遮断機が上がる忘れたことにする	石橋芳山

石橋芳山さん、「遮断機」を使った句にしばらくぶりでお会いできました。「遮断機が上がる」と人や車が踏切を横断できるようになるのですが、芳山さんは待っている間に思っていたことをそこで一旦やめて、素知らぬふりで踏切を渡るんだね。認知症じゃないよね、たぶん。

## C群

ああ言えばこう言う新蕎麦のクセに	奈良一艘
新調した袋小路を着て歩く	小野五郎
花簪を改札に置く終列車	笹田隆志
ぼおーんと冬木立に挟まったまま	四ツ屋いずみ
マヨネーズ添えてラップの機関銃	宮井いずみ

奈良一艘さん、例の店で「新蕎麦」を食べましたか？あ、関係ないね。この句の「新蕎麦」は新米（おっと、この「新米」はコメのことじゃなく新参者のこと）のことですね。いいものを持っているのに何だかんだ理屈を捏ねる新米っているものね。ちゃんと指導してあげた方がいいですよ！

小野五郎さん、「袋小路を着る」にはぶっ魂消しました。

「袋小路」って、物事が行き詰まることですよ。五郎さんは新しい何かに行き詰まっついて、そのことを考えながら常の行動をしている。そんな状況を句にしたらこうなったってことでしょうか。はあはあ…。

笹田隆志さん、「花簪」は花の枝や造花をかんざし（簪）にしたものだよね。かんざしは、日本髪に挿す装飾品。現代生活ではほとんど見ることができない。そんなものを「改札に置く」って何かあったんでしょね。隆志さんがプレゼントした「花簪」を、相手の方が「終列車」に乗る前に置いていってしまった。つまり、隆志さんは

振られたんだ。そうとしか思えない。違うかな。

四ツ屋いずみさん、上5の「ぼおーんと」が効いてますね。一見何でことない「ぼおーんと」だけど、次が「冬木立に挟まったまま」だからおもしろい。「挟まったまま」が苦しいんだか楽しいんだか、その辺は読者が「ぼおーん」から想像してちょうだいってことですよね。きつと楽しいんだ！（笑）

宮井いずみさん、この句を読んである映画を思い出しました。薬師丸ひろ子、渡瀬恒彦、三國連太郎などが出演し、赤川次郎の原作を映画化した「セーラー服と機関銃」です。と言っても、映画は見ていなくて、薬師丸の歌う主題歌を聞いたことがあるだけです。あ、どうやら関係なさそうですね。ところで、「ラップ」して「マヨネーズ添え」た「機関銃」って初めてお目に掛かりますが、きっと作者ご自身のことですね。用心用心。

おかしやうぎ川柳社会員雑詠集

# 無人駅

★無人駅12月月間賞

幻影肢月下の海に立っている

小野五郎



### 村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

何度洗っても取れぬ母のヌルヌル  
母さんの膝の上には戻れない  
波長が合わなくなつた赤い糸  
付度を強要してる無理無体  
低燃費で溜まり続ける皮下脂肪

先月号のお気に入り  
ミステリーツアーのバスよ喜寿傘寿  
何が起ころうが楽しみましょう！  
吉田州花

### 村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

雲はれて月鮮やかに空に咲く  
秋の雲笑った顔はちちとはは  
想い出をふるいたたせる茜空  
おばあさんと呼ばれても振りむかぬ  
萩の花ちり際だけは母に似て

先月号のお気に入り  
泣くことができる幸福感もいい  
悲しくてもうれしくても泣けるって自分をときはず事  
三浦蒼鬼  
だと思つ。

### 葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

寅年と言えば「やはり」と返される  
大風呂敷広げる人へ向ける牙  
珈琲も麦酒も古語もMも好き  
だから何 五黄の寅が何だつて  
この次はあるのだろうか年女

先月号のお気に入り  
ガラケーがゆっくり歩く大通り  
私もガラケーです！  
辻井洋子

### 吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

巻き戻すテープ気持が晴れるまで  
さよならのためにあるのよ長い前置き  
終止符の前に並べる男運  
三日月は不良の仁義そそのかす  
虜になつた親分の物語

先月号のお気に入り  
のっぺらぼうの兄に伝える母のこと  
のっぺらぼうには耳もなかったのです  
城後朱美

### 守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

毒づくど花柄の毛布贈られる  
死ぬたびに増えてゆく海色の陶器  
言葉飲み込むみねこが集うところ  
美術館のごみ箱に固定概念  
見てしまうエレベーターの二面性

先月号のお気に入り  
ゆっくりと食べねばならぬ手打ち蕎麦  
勢いよくすすめるやつてました。ごめんさい。  
安藤なみ

### 柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

初雪の白さそのままあるがまま  
とりあえず氏神様へ行くプラン  
おみくじは中吉春の顔になる  
立ち漕ぎのペダル春一番を追いかけて  
春だもの告白したい金魚です

先月号のお気に入り  
狂い咲きそんな手口もあつたのに  
狂い咲き そんな咲き方してみたいです  
葉 閑女

### 吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

降りしきる雨が掬っている時間  
溺れそう時の激流渦巻いて  
お日様を優しく包む細い雨  
パワーストーン秋の入り口晴れ渡る  
濃密な紅葉の香に酔いしれる

先月号のお気に入り  
カットして一日抱いていた虹  
虹をカットしようなんて考えたことありませんが、参考  
になりました  
辻井洋子

### 吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

風の世は亡義父の手植えし柿たわわ  
数行の朝井まかてに捕らわれる  
言いたい放題暮らす家あり山河あり  
シュプレヒコール日に三度のなべやかん  
時代遅れの言葉で暮らす蓑虫は

先月号のお気に入り  
あの角を右へ回ればお葬式  
左へ回れば別な人生があつたのでしょうか。  
笹田隆志



## 四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

北窓のマリア・カラスははためいて  
ぽおーんと冬木立に挟まったまま  
ヴィーガンのこちらで咀嚼するラム肉  
戻せない体幹のズレ19度  
この際だもの生まれ変わるわ無影灯

先月号の  
お気に入り

何だろう近すぎてぼやけてるもの 齋藤泰子  
私も老眼鏡で見えています(笑)

## 米山明日歌【よねやますか・静岡県長泉町】

お豆腐がしずまぬうちにだす答え  
カメムシの臭いをさせた日記帳  
こむら返りした所を やり直す  
淋しくなるとひらひらとする手紙  
聞知った象の鼻からスワヒリ語

先月号の  
お気に入り

根っこまで見せて前書きだというの ひとり静  
もう、そのあとが聞きたくて、聞きたくて。

## 石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

遮断機が上がる忘れたことにする  
砂漠だと思ふスマホの電池切れ  
満月を齧り始めたかぐや姫  
憎まれていないと幸せが逃げる  
朧夜に紛れて悪を売り歩く

先月号の  
お気に入り

ゴシック体の男になつてはぶつかる 芝岡かんえもん  
若い頃は粋がってましたが最近はめつきり丸くなってし  
まった。無念

## 岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

姐さんの背なのタトウが拗じれ浮く  
寡婦にならはったハイビスカスの朱  
アルカイツクスマイルに瓢箪の棚に  
八丁味噌を運ぶ母さんの沖へ  
ガタガタと騒ぐな犬歯の隣家

先月号の  
お気に入り

## 渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

再会に話題どんどん太巻きに  
不用意な一言辺りを水浸し  
困ったな想定外のバスが来る  
親指であけた穴から落ちました  
いつかなど待っていられぬグレイヘア

先月号の  
お気に入り

編み棒のために私をほどこいてる 夏草ふぶき  
どんな愛が編まれるのでしょうか。

## 安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

遙かなるデルス・ウザーラ今は海  
足し算の途中マグマに襲われる  
粛々と天気予報のすれ違い  
ちやぶ台でゴルゴと食べる豆の肉  
黒ビールの次は白ビールにしたわ

先月号の  
お気に入り

力を込めるのは引き金を引く一瞬 奈良一艘  
一瞬の後は焼餅を食べたり、水筒の酒をぐびったり、ちよび髭  
にしたり、五百円札を見付けたり、臍にピアスをしたり。忙しい、

## 上村夢香【うへむらめか・山口県岩国市】

コロナ禍を越えて長老神楽舞  
雲を蹴り今日も頭上に戦闘機  
冬眠用柿はイノシシ熊たちの  
元上司も女子会加入エンドレス  
神宮の森独り占めつば九郎

先月号の  
お気に入り

あと一つアウト取れば来る明日 村井規子  
私が応援するチームには、新人らしからぬ守護神がいま  
す。是非新人賞を獲得してほしいと願う日々です。

## 小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

新調した袋小路を着て歩く  
封切りの映画に出てきた笠智衆  
覚えたばかりの御札を消す手品  
新品のネクタイとラーメンスープ  
みかん風呂に浮いてるアフロディテ

先月号の  
お気に入り

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

キズにまとわりつく泥沼の視線  
ご破算の算盤玉が洩り出す  
冷めないように零れぬように語り合う  
灯り落とすきつても滾る修羅しゅしゅしゅ  
落ち椿の嘘もほんとも水になる

先月号の  
お気に入り  
デテッポウボウ一日鳴いてみたけれど  
吉田州花  
応えてくれていたこだまも返らなくなった…

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

一月の胡瓜一本買つてくる  
それならと長さ揃えて切つておく  
堂々とカボチャの体で座つてる  
温度差はかなりあるけどそれなりに  
お構いなくを無視していいか昼の月

先月号の  
お気に入り  
根菜の固さぐらいで生きている  
米山明日歌  
固さがあるから折れやすいのよね

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

化粧するこれでもかさあこれでもか  
この涙ながれながれて桃になり  
瑠璃色にだまされ術中に嵌る  
恋人は伸身2回ひねりなり  
王様よもつと裸にしてあげる

先月号の  
お気に入り  
濃き出せばいいでしょう 舟なんだから  
土田雅子  
あら…言われちゃいました。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

骨折の母に食べたいものを聞く  
不可協力そんな言葉がすり抜ける  
来る時が来たのか母の紙おむつ  
自宅治療 母に時間を奪われる  
本当の介護は始まったばかり

先月号の  
お気に入り  
腹割って話すことでもないのだが  
まみどり  
友だちとの話の中で本言は言えぬまま…

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

物の怪も泣き虫も棲む胸の底  
マイナスとばかりも言えぬ姥ざかり  
泣き言はほとけの水を替えてから  
日常をちよつと豊かに虹仰ぐ  
幸せを種のまんまで子に渡す

先月号の  
お気に入り  
沈んではいけないが浮かんでもいけない  
まみどり  
それは平常心ということでしょうか？

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

花簪を改札に置く終列車  
生き別れる永観堂の桐一葉  
仏が浦の栗拾いするはぐれ猿  
七敗目もうあとがない大銀杏  
無神経な燃料棒を抱いた夜

先月号の  
お気に入り

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

恥ずかしい癖の話がまだ続く  
ラッパ吹くあちらこちらの落とし穴  
神様の袖の匂いを嗅ぐ夕べ  
お住まいは坂を上った紙の城  
八時には夜会巻きして参ります

先月号の  
お気に入り  
根が生える座り過ぎてはいけません。  
村井規子  
「どつしりと構える！」は古き良き時代(?)の金言か。  
根が生えてはせつかくのフリーアドレスも台無しである。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

嫉妬かなジェラシーかもな尾氐骨  
ルパンでもおひさまだけは盗めない  
お笑いで包む寂しい夜だから  
三密を避けてチームがまとまらぬ  
見ざる聞かざるどこまでアナタ出来ますか

先月号の  
お気に入り  
夕焼けや仮面を外す時がきた  
芝岡かんえもん  
外した素顔はどんな顔？ 想像力をかきたてられます。

### 田久保亜蘭

【たくぼあらん・秋田県五城目町】

方程式解けた真夏のペンギン  
そう言えば君のオッパイ保健室  
窮屈な三角錐の排卵日  
片付けたミイラの裸足追いかけた  
簡単なもみじ簡単に色付いた

先月号のお気に入り

### 旅男

【たびお・青森県五所川原市】

コールコール出るな出るな義理電話  
命の袋のぼしたりにぎつたり  
神の僕は捨てられて別天地  
何と語っている棒なのか沈思  
ゆるいのは嫌いなんです命綱

先月号のお気に入り  
貰い泣き さあ掃除機をかけましょ 田中薫  
さあ掃除機。の転換がいいですね。弱味を見せないように、さあさあどつどつと。

### 田中 薫

【たなかかおる・青森県弘前市】

ふるさとの空膜が取れ原色だ  
叱られに帰ろうか母さんの元  
ふるさとは香りではなく匂いである  
いっぺんに空気を変えた案山子さん  
負けないでヤン坊マー坊耕すんだ

先月号のお気に入り  
母は父だった父は父だった  
本当は凄いい母様、尊敬します>>>  
田久保亜蘭

### 辻井洋子

【つじいようこ・青森県青森市】

引き潮に賑やか過ぎる鼓笛隊  
朝が来る黄身と白身は響き合う  
ユートピアそれより今日のおでん鍋  
老人を正しく見せるラッピング  
金魚とは昔話しができそうだ

先月号のお気に入り  
冷たくも熱くもなれぬ七分袖 渡邊こあき  
中途半端も味なもの、邁進しよう☒

### 土田雅子

【つちだまさこ・青森県青森市】

立冬がガングリオンを刺激する  
白魚のよな指は何処に冬もみじ  
ため息をふたつ飲み込みするジャンプ  
ショートカットばかりで通り過ぎる家  
秒針を失くしてから永い冬

先月号のお気に入り  
根っこまで見せて前書きだというの ひとり静  
それは困りものです。

### 夏草ふぶき

【なつくさふぶき・青森県青森市】

食事終え洗い物終えさあ泣くよ  
後悔があるのか首を垂れる稲  
猫の手を借りて人生ゲームやる  
猫が鳴くと心に黒い雲がわく  
笑えたら私は風になれるのよ

先月号のお気に入り  
とりあえず並ぶ真昼の長い列 須藤しんのすけ  
暑さは苦手でも並んじやいますね

### 奈良一艘

【ならいつそう・青森県弘前市】

ああ言えばこう言う新蕎麦のクセに  
ほほえみは当用漢字で書きなさい  
回り道をしたのかもしれないな  
下ネタと下仁田ネギのふくらはぎ  
帝王切開的アンミカの関西弁

先月号のお気に入り  
膀胱に沈没してる潜水艦 むさし  
ガニ股で歩いているのはそのせいでしたか。前立腺にはミ  
サイル…とかもありそうですな。

### 鳴海賢治

【なるみけんじ・青森県つがる市】

病院に輪ゴム落ちてる昼下がり  
待ちわびて 待ちわびて 風の裏窓  
ジャガイモを成功させれば御の字だ  
日暮れどきウソはつかない秘密ある  
もやもやの真顔で「いつもすいません」

先月号のお気に入り  
中立な立場を通す炊飯器 ひとは  
【中立】が目新しく見えました。

### ひとは【ひとは・青森県黒石市】

満月がお酒の相手もう一杯  
良妻賢母使用期間が切れまして  
愚妻とはなんて気ままでお気楽で  
子離れが上手にできて夕間暮れ  
ほろ酔いが過ぎて地獄の三丁目

先月号のお気に入り

### ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

山眺めその後のことを考える  
いつの日かさよなら勝ちを試してみたい  
言い訳は頑張ったこと母パフェ  
握力が足りない運が逃げてゆく  
火炎土器共鳴するのやめてよね

先月号のお気に入り

漕ぎ出せばいいでしょう 舟なんだから 土田雅子  
いろいろと考えなきゃいけないことあるのよ。

### まきし【まきし・青森県青森市】

ところで切り出したのはどころてん  
捕まったことはないのよ鬼ごっこ  
ふむむと聞いたふりして柿を食う  
疑問符を蹴とばしながら笑い合う  
何もかも幻ふわり赤とんぼ

先月号のお気に入り

夢も希望も無臭になってきた  
わたくし自身も無臭になりたいな。

小野五郎

### まみどり【まみどり・青森県黒石市】

何をして気を紛らわす白い部屋  
スリッパの音だけ響く異空間  
待つことが祈りの一つだとしたら  
流れゆく雲に不安を乗せてやる  
うつつらと浮かんだ虹が消えぬ間に

先月号のお気に入り

人のこと構ってられぬ秋も終 旅男  
そうなんです、余力が少なくなっているのです。

### 三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

さらさらのクスリへ白紙委任状  
首横に振ると真冬日匂います  
キラキラのまま遺影になりなさい  
あといくつ寝ると魔法が解けますか  
限られた時間を赤く太く編む

先月号のお気に入り

### 宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

フィルターにしがみついている腑抜けども  
やけにタメ口 小芋の皮を剥いてから  
マヨネーズ添えてラップの機関銃  
じれつたい氷だ南極の祟り  
今ここに置いたはずだが明日の眉

先月号のお気に入り

漕ぎ出せばいいでしょう 舟なんだから 土田雅子  
そう言われても、なんだかんだぶつぶつ。

### 村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

長い夢忘れないでと言う故人  
何もせぬうちにまた来た金曜日  
チャンネルを変えるとまたも介護保険  
子規の分まだ生きなくちゃさあ行くぞ  
感動は暮らしの中にある…きつと

先月号のお気に入り

### むむし【むむし・青森県蓬田村】

抹消線だらけになった住所録  
片減りの靴が遊びに行きたがる  
木洩れ日浴びて抜け殻不意に起き上がる  
体重を減らせば雲に乗れますか  
采の目が月になるまで振っている



# 深艘心理

スロースリップ尾てい骨の蓋

小野 五郎

(会員雑詠集無人駅11月号より)

スロースリップとは文字通り、ゆっくりと滑るとの意味で地震学の用語。普通の地震によるプレートのすべり(スリップ)よりもはるかに遅い速度で発生する滑り現象のことらしい。地震といえば、2011年(平成23年)3月11日14時46分頃に三陸沖を震源としたマグニチュード9.0、最大震度宮城県では7の地震。いわゆる東日本大震災が深く心に残っている。地震に伴う津波は福島第一原発を始め死者・行方不明者合わせて2万を超え、壊滅的な被害をもたらした。未だに復興は道半ばである。スロースリップが原因となっていたかどうかは門外漢なので詳しくは知らない。さて掲句であるが、作者の尾てい骨とは恐らく自身の生

きる根源又は生き様。その蓋が年齢を重ねる毎にゆっくりとズレてきて、今にも陥没するかのようだと言っている。蓋は終息の弁であり、肉体が生きているということは必ずどこかで終息がある訳で、霞を食って生きる仙人のように生き続けることは叶わない。作者の言うその蓋とは肉体の儚さ、或いは精神的なものを指しているのかは想像するしかないのだが、もしかししたら作者はその両方なのだと大いなる危惧と不安を抱いているのかも知れない。

最近視聴して感銘した小栗旬主演「日本沈没」というTV番組とダブってきて掲句が尚更スシンと心に響いた。うーむ。深いなあ。やるなあ。五郎さん。

## せつなさの

12月4日(土)午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(12名)

小野五郎・守田啓子・熊谷冬鼓・渡邊こあき・奈良一艘・葉閑女・まきこ・むさし・笹田隆志・夏草ふぶき・土田雅子・Sin

▼投句者(20名)

米山明日歌・柳本恵子・安藤なみ・宮井いずみ・吉田吹喜・芝岡かんえもん・郷田みや・吉松澄子・旅男・まみどり・ひとは・きさらぎ彼句吾・城後朱美・笹田かなえ・石橋芳山・村上あつこ・斎藤泰子・鳴海賢治・岩根彰子・坂本清乃

おかじょうき川柳社

12月例会

# 席題『旅』

青森県青森市

小野 五郎選

## 【佳作】

仏壇の中へ旅路が続いてる

夏草ふぶき

旅しようか菊芋チップ揚げようか

守田啓子

棘のない野ばらを抱いて眠る宿

笹田隆志

虹の先音信不通の象がいる

夏草ふぶき

旅先でサンダルばかり目についた

夏草ふぶき

震度9宿まで揺れている訃報

笹田隆志

生き恥の長い遠足だとしても

奈良一艘

くちびるを鈍行列車が駆けぬける

奈良一艘

あの世まで蒼い木馬に乗って行く

むさし

旅立ちの朝だおにぎり六個喰う

まきこ

## 【秀逸】

夕焼けの海へ行こうと馬が来る

むさし

漂流中鼻の形が決まらない

まきこ

天気晴朗マチスの青に逢いに行く

むさし

## 【特選】

ささくれを引っ張るとああ上野駅

守田啓子

『ささくれと集団就職の時代を結びつけた。当時の現実が伝わってくる。』

# 席題『旅』

青森県三沢市

守田啓子選

## 【佳作】

黄昏のページでひとり旅支度

まきこ

旅先でサンダルばかり目についた

夏草ふぶき

ゴーギャンの目線でうろつくタヒチの夜

小野五郎

旅姿決めて旅先決める冬

渡邊こあき

べったりと指紋をつけた旅パンフ

熊谷冬鼓

虹の先音信不通の象がいる

夏草ふぶき

すぐそこのコンビニまでも旅ですよ

葉閑女

棘のない野ばらを抱いて眠る宿

笹田隆志

くちびるを鈍行列車が駆けぬける

奈良一艘

旅立ちの朝だおにぎり六個喰う

まきこ

## 【秀逸】

天気晴朗マチスの青に逢いに行く

むさし

仏壇の中へ旅路が続いてる

夏草ふぶき

生き恥の長い遠足だとしても

奈良一艘

## 【特選】

黒い話が白くなるまでひとり旅

土田雅子

『生きていく限り旅は続くのかもしれない。』

# 宿題『保』

青森県蓬田村 むさし選

## 【佳作】

とりあえず久保田があれば何も言うまい  
アポもなく保険屋さんがやってくる  
保温中につき撫でてはいけません  
拳銃をすぐ抜きたがる保安官  
母さんの筆筒にあつた宇宙服  
ムーミンがこつそり覗く保健室  
遠くから見守るだけの保護者1  
ウルトラマンの三分僕の八時間  
形状記憶シャツつままない男  
沈黙を保ったままのシャボン玉  
上腕二頭筋担保に畑買う  
保険料率連動型万歩計  
ダブルクリック続く核保有国  
保育所で仲良しだったアルカポネ

笹田かなえ  
葉 閑女  
吉松澄子  
小野五郎  
安藤なみ  
郷田みや  
渡邊こあき  
土田雅子  
きさらぎ彼句吾  
米山明日歌  
守田啓子  
宮井いずみ  
鳴海賢治  
小野五郎

品性は保つたという曲り茄子  
少しだけ傾いたままのやじろべえ  
あせらない保留ボタンがあるじやない  
筋肉ぷるぷる豆腐と同じ保水力  
保護色は黄色待ちぼうけが続く  
保護色をまとい憎しみ閉じ込める

奈良一艘  
柳本恵子  
宮井いずみ  
小野五郎  
葉 閑女  
まき こ

## 【五客】

五千円借りる担保は雪景色  
イルカ飛ぶ保身は海に捨ててある  
片手を放すそれが夫婦の保ち方  
つなぎ目を保存したはずだったのに  
さよならに何度もノックされている

葉 閑女  
渡邊こあき  
笹田隆志  
郷田みや  
芝岡かんえもん  
夏草ふぶき  
きさらぎ彼句吾

## 【人位】

タッパーの中で私が発芽する

夏草ふぶき

## 【地位】

踊り疲れたし鋳型に戻ろうか

きさらぎ彼句吾

## 【天位】

脳内にドンキホーテがまだ一人

奈良一艘

↑ドンキホーテ殿はまだお元気で活躍  
のようですね！

# 宿題『干す』

青森県弘前市 奈良一艘選

## 【佳作】

シート干しながら絆創膏で済んだこと  
デジタルのもつたいないが干してある  
泣いた泣いたどこで私を干しましょか  
喪服干すこんな空は青いのに  
枯れるほど泣くと涙が水になる  
涙をかわかしています震度ゼロ  
干したらねわたし美味しくなりました  
干されてるようね手足が動かない  
不本意な干され方涙もでやしない  
狂いたいあなたの手から干されたい  
つぶやきはもう干し柿のころ持ち  
ひび割れた脳の欠片を一夜干し  
スルーしたことを悔やんでいる干潟  
中空に大阪弁を伸子張り

熊谷冬鼓  
安藤なみ  
斎藤泰子  
柳本恵子  
夏草ふぶき  
鳴海賢治  
芝岡かんえもん  
吉松澄子  
渡邊こあき  
まき こ  
笹田かなえ  
笹田隆志  
宮井いずみ  
岩根彰子

笑い上戸で泣き虫の除湿器

夏草ふぶき

文法が干上がってゆく交叉点

葉 閑女

鉄人28号陰干しをすすめます

小野五郎

干し大根ほどの愛情ならあるわ

土田雅子

枕干す男の形けしながら

米山明日歌

どうしよう勝負下着が乾かない

米山明日歌

## 【五客】

干し葡萄一粒ずつと話し込む

むさし

笑いから零れちまつて干しナマコ

石橋芳山

身分証年齢欄に干し大根

小野五郎

ちちの戒名がスルメになりました

鳴海賢治

母さんが私を干したまんま逝く

守田啓子

## 【人位】

鯉節になる手もあるか閉経後

きさらぎ彼句吾

## 【地位】

職質を受けたか半生の煮干し

石橋芳山

## 【天位】

せつなさの干しかた恋のたたみかた

吉松澄子

↑せつなさの干し方等をぜひご伝授願  
たいものです。

# 宿題『自由詠』

青森県青森市 笹田隆志選

## 【佳作】

高笑いしすぎか月がジャレてくる  
 どうしてあげることもできない手を見る  
 5分ほどおまえ煮出して僕にする  
 師走だぞ白紙にしたいこともある  
 ふんばりは松田聖子の塩梅で  
 絶対音感で四股を踏んでいる  
 ボタンより青くて深いズボン吊り  
 お豆腐の揺れる角度で待ってます  
 遅がけのお昼に亡父の吸盤を  
 喉仏うまく枯れたら逝きましよう  
 歯科医師に夜の生活を訊かれる  
 どこまでが血なの水なの猫じゃらし  
 右脳のアタッチメントがはまらない  
 しあわせの美味しくなっている時間

石橋芳山  
 きさらぎ彼句吾  
 芝岡かんえもん  
 坂本清乃  
 米山明日歌  
 まみどり  
 小野五郎  
 米山明日歌  
 岩根彰子  
 奈良一艘  
 旅 男  
 きさらぎ彼句吾  
 小野五郎  
 芝岡かんえもん

なみ外れた空だったよね時雨来る

24時私も湿気て素に戻る

一定の効果あり欠航します

全員の都合を乗せて行く電車

冬眠用の穴だマスクと酒がある

ほどほどの距離ですしなやかな手首です

## 【五客】

吹雪くので今夜はモネと話そうか

刺激のないぬるま湯だったこの2年

お月様は画びようになつてしまわれた

二ページ目の海で今宵も座礁した

添いとげよう紅まどんなを食べながら

## 【人位】

循環器正常唇に点火

## 【地位】

藪の細道 首掛けの聴診器

## 【天位】

気をつけ！休め！蜻蛉に做え！棒になれ！

↑これを傑作ではないでしょうか。こんな句  
 視るのも初めてです。

笹田かなえ

ひとは

鳴海賢治

吉田吹喜

むさし

守田啓子

むさし

村上あつこ

笹田かなえ

きさらぎ彼句吾

吉松澄子

安藤なみ

旅 男

旅 男

旅 男

旅 男

旅 男

旅 男

# 十和田たてがみ川柳会11月句会

【とき】 11月20日（土） 於：十和田労働福祉会館

【出席者】 漆館ミノリ・木村奈生美・久保あざみ・

斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・中村英三・

福田芳記・村上昌子・高田幸柳

【投句者】 磯島雅男・城後朱美

## ■席題 『ウミネコ』 村上 昌子 選

### 【平抜き】 睥

燕島にヒツチコックの群れを見る  
 辺りをば巢抱くウミネコ聘睨す  
 人間もウミネコも好き空の青  
 かぶ島で初めてデート糞（ウン）がつく  
 ウミネコにどんな未来か聞いてみる  
 カラス鳴くウミネコの島譲つてよ  
 大海を追うウミネコの未来地図  
 ウミネコに託してみたいわが心  
 世を渡るウミネコ脱皮繰り返す

福田 芳記  
 佐藤まさあき  
 木村奈生美  
 久保あざみ  
 高田 幸柳  
 斉藤 蛙井  
 木村奈生美  
 中村 英三  
 木村奈生美

## ■席題 『ウミネコ』 瀧尻 善英 選

### 【平抜き】

燕島にヒツチコックの群れを見る  
 ウミネコヘコーラスタクト振ってみる  
 かぶ島で初めてデート糞がつく  
 群れて飛ぶウミネコきつとデモしてる  
 傘をさしウミネコの島お参りす  
 かぶしまにかもめが居ても気づかずに  
 ウミネコに鳴き声劣るウチの三毛  
 ウミネコにやんちゃなタマを会わせたい

福田 芳記  
 斉藤 蛙井  
 久保あざみ  
 斉藤 蛙井  
 佐藤まさあき  
 漆館ミノリ  
 佐藤まさあき  
 村上 昌子

### 【秀逸】

ウミネコに夕べの嘘を見透かされ

海が風ぐまではウミネコ大合唱

### 【特選】

クレヨンで描いたウミネコ飛び出そう

斉藤 蛙井  
 斉藤 蛙井  
 高田 幸柳  
 瀧尻 善英

瀧尻 善英



晴れた日に傘を持参で蕪島へ  
ウミネコに夕べの嘘を見透かされ  
大海を追うウミネコの未来地図

【秀逸】

ウミネコにどんな未来か聞いてみる  
人間もウミネコも好き空の青

【特選】

ウミネコが清しい春を連れてくる

福田 芳記  
高田 幸柳  
木村奈生美

高田 幸柳  
木村奈生美

高田 幸柳

■宿題 『馬』

高田 幸柳 選

【平抜き】

農耕馬時代に消えた資本主義  
歳越せずはずれ馬券に師走風  
馬の背のゆらりドキドキ幼い日  
馬飛びに弾む向こうは青い空  
たてがみを結わいて勇む馬術会  
回転木馬逃げ出したのは三日前  
馬の目に会った素直になれそうだ

久保あざみ

斉藤 蛙井

村上 昌子

木村奈生美

中村 英三

城後 朱美

村上 昌子

旅先の場で馬が合う初対面

明日の空馬の背分けのケセラセラ

レース終えはずれ馬券が宙を舞う

シャガールの馬が見ていた夏の恋

家系図へ隅に出てくる馬の骨

馬が合う友と交わした縄のれん

野次馬のスマホ現場で非常識

【秀逸】

吹雪く中寄り添って立つ寒立馬  
競市に曳かれる馬の背にみぞれ

【特選】

確率を無視して買った万馬券

木村奈生美

村上 昌子

佐藤まさあき

城後 朱美

瀧尻 善英

佐藤まさあき

瀧尻 善英

佐藤まさあき

中村 英三

瀧尻 善英

■宿題 『牛』

木村奈生美 選

【平抜き】

牛肉に財布がNOと手が出せず  
手触りは複雑孫の乳搾り  
覚悟した牛は菩薩の目で曳かれ

漆館ミノリ

城後 朱美

瀧尻 善英

■互選 『兔』

- ①月が良く似合う動物それ兔
- ①後で知るおいしい鍋が兎だと
- ②クローバー積んで帰った兎小屋
- ②真っ直ぐに育つ兎も子も素直
- ②分譲地野うさぎ追った幼い日
- ②兎そのまま寝かせとく亀の罨
- ②ふるさとの追いし兎は月の中
- ③民の声兎のごとく耳を立て
- ⑤かけっこはビリも逃げ足なら脱兎

漆館ミノリ

久保あざみ

中村 英三

木村奈生美

佐藤まさあき

瀧尻 善英

斉藤 蛙井

高田 幸柳

村上 昌子

【十和田たてがみ川柳会1月例会案内】

【時】1月15日(土) 午前10時から 【所】十和田労働福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『煽(おだ)てる』村上 昌子選／『大きい』佐藤まさあき選 【互選】(一句詠)『おもちゃ』当日出席者のみ(句箋の裏に雅号記入) 【席題】一題(三句詠・共撰)／選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名 【投句先】〒034-0049 十和田市西二十二番町2-21 十和田労働福祉会館 高田幸柳あて

# 川柳吟行会「ぽ」

## 課題『葉』

てて落ちる朴の葉のようだ。はかなすぎる。【冬鼓】朴の大きな葉っぱは音立てて散る。大きな存在だった父と重ねた作者の思いが伝わる。「火」が少し気にはなったが。【ふぶき】大きな朴の葉と父親の偉大さ、どちらも潔い散り際と思わせるいい句だと思いました。

〔6点〕特×2・佳×2

枯れ葉舞う命まっとうしましたか 渡邊こあき

【州花】年賀欠札の届く頃には枯葉が舞う。私の番がきて「はい、まっとうしました」と言えるだろうか。【さち】いつも自問しながら生きていくのはしんどいけど、「まっとう」が気張ってなくてすんなりと受け入れられた。【柳本恵子】命まっとうしましたかの言葉が胸にぐっとときました。【ふぶき】サラッと詠まれた印象なのですが、舞う枯葉が人の一生の重さ厚さを持っているように思えた句でした。

新型コロナウイルス感染が下火となった11月17日（水）、第31回吟行の合評会がJR青森駅前のアウガで行われた。出句者19人、句数57、日に日に秋が深まっていく中合評会に参加したのは8人。時節柄枯葉、落葉を取り入れた句が多い中にある、茶葉やローリエ、朴葉みそ、大根、桐一葉などを取り入れたユニークな句も混じりバラエティーに富んだ構成である。恒例により各参加者が気に入った句、あるいは気になっている句について自分の見方を述べた後、他のメンバーの発言と続いて大いに盛り上がりを見せた。8人を一巡した頃には4時を過ぎ、楽しかった時間を惜しみながら解散となった。（五郎）

〔6点〕特×3

音立てて散る朴の葉も父の火も 滋野さち

【啓子】肉親の死とは。父の死とは。正に大きな音を立て

〔5点〕特×2・佳×1

神降臨 銀杏を踏んで紅葉を踏んで 笹田かなえ

【五郎】スケールの大きな映像を見ているようだ。一字あけが効果的。【柳本恵子】奈良の東大寺の裏にある大銀杏は落葉するとふかふかの黄色いじゅうたんになります。神様が降りてこられるような気がします【州花】黄葉は神さまが地上にいる時期だったのですね。

〔5点〕特×1・佳×3

出廻らしの茶葉です面接できますか 夏草ふぶき

【隆志】定年後の再就職の哀歓がユーモアをこめて表現されているのがうまいです。【こあき】面接しますとも。出廻らしの茶葉だからその使い道ありますよ。【啓子】出廻らしの茶葉もいい仕事をしてくれるはず。私だったら採用しちゃいます。でも、まずは面接に来て下さいね。【冬鼓】自分を飾らない申し出に好感。是非わが社に。

〔4点〕特×1・佳×2

柿の葉で払う税金介護保険 滋野さち

【いずみ】税金や介護保険を木の葉で、しかも色づいた柿の葉で払うという発想が楽しい。【朱美】同感！年金

の粹では払えませんか。【文音】柿の里に引越したくなりまして。小銭はドングリで。おもしろい。

〔3点〕特×1・佳×1

ボヘミアン枯葉の街を歩くとき 吉田州花

【吉見恵子】秋ならではの枯れ葉を踏んで、物淋しい街を歩く時の特別な気分を「ボヘミアン」で表現していて、上手いなあと思った【文音】枯葉の街を歩く時にはボヘミアン。シャンソンを口ずさみつつ。

虫喰いの葉っぱだ 味のある顔だ 吉見恵子

【朱美】味のある顔だに、想像を掻き立てられる。一目ぼれするような顔立ちなんだろう。【ふぶき】完璧なものより、どこか抜けているほうがいい味出しますよね。

プライドはローリエほどにシチュー煮る 笹田かなえ

【文音】カタカナの表記にもリズムを感じる。料理好きの自慢のシチュー召し上がれ。ほどほどの色気を感じます。【隆志】シチューに添えたローリエのプライドが面白い。

全身全霊 落ち葉の踊り子

小野五郎

【かなえ】「全身全霊」にズキン。抒情的過ぎるかもしれないが、秋はそんな季節。許す（笑）【旅男】ことに風のないときの落ち葉の踊り子は飽きませぬね。

【3点】佳×3

関節がそろり枯葉になっていく

夏草ぶぶき

【さち】関節だけでなく、幹までそろりそろりです。実感しています。【規子】私はそうなるサイクルが他の人より十年早い。悲しい現実ですが、それでも生きて行かねば。【いずみ】関節が弱くなっていく様を枯葉に例えたのが面白い。

【2点】特×1

香ばしい嘘焼きあがる朴葉みそ

宮井いずみ

【彰子】物「朴葉みそ」で、事「香ばしい嘘」を焼きあげる、情況が薫りが立ち上がって来た。正に川柳を感じた。

葉に隠れもつらふと言つあの日のこと

紫の園

【規子】「許すことは愛すること」という寂聴さんの言葉

【2点】佳×2

堂々と間引きされてる大根葉

城後朱美

【彰子】吹けば飛ぶよな間引き菜を主役に。小さなものを大きく詠む力技。【規子】大根葉はこの後味噌汁となり栄養となる。

バイオリン弾きだったんだ桐一葉

岩根彰子

【州花】大発見に拍手です。【紫の園】桐の葉が1枚、少々強い風にでも揺られ、ハッと気がついた、バイオリン弾きだったことを。バイオリン弾きというのがにくいですね。

枯れ葉には相棒がいて吹き溜り

福田文音

【彰子】吹き溜りの新たな見つけに感動を覚えた。【さち】相棒がいることの安心感が嬉しいが、吹き溜まりじゃない方がいいな。

葉脈のどきどき解ってあげましよう

岩根彰子

【かなえ】葉っぱの葉脈にまで目配りができるって素敵。【こあき】解らずにこの年齢に。あるとき解っていれば違う人生だったかも。

を思い出した。許すことで自分にも明日が来る。

落ち葉にうまれて野仏わらってる

柳本恵子

【紫の園】道ゆく傍にいらつしやる野仏が落ち葉に包まれて、笑っているお顔が素敵ですし、なんと心が和むことでしょう。

致命的な量の落葉を浴びている

小野五郎

【こあき】降るようなイチヨウの木の下にいと幽玄な世界へ誘われます。「致命的な量」につかまりました。

青空へ黄葉ブレイクダンスする

渡邊こあき

【夢香】コロナ感染は、減少傾向。明るい未来を期待しています。

こんなところから葉っぱ 忘れがたい日々

守田啓子

【旅男】どんな所で何をしてきたんでしょうか。「忘れがたい」とはその後は経験することのないようなことでしょうか。思わせ振りがいい。

双葉から実になるまでのものがたり

熊谷冬鼓

【紫の園】芽が出るのは双葉、それから実のなるまでは葉が青々としている。その一連を「ものがたり」と捉えたところが、素敵。【夢香】人生を謳歌されていますね。

【1点】佳×1

一年をかなぐり捨てる大山小山

旅男

葉も落ちて心配事のもうない樹

守田啓子

虫喰いの葉っぱ摘出したの乳

岩根彰子

その日には「葉っぱのフレイム」であるように

吉見恵子

パセリの位置から見てる山の空

熊谷冬鼓

青いブルカに散り積もっていく落ち葉

滋野さち

街中の落ち葉を踏んで泣きません

笹田かなえ

桜紅葉チヨイシブオヤジ現れる

渡邊こあき

病葉のひたすらひとつ歳をとる

旅男

梶子の葉を食べ尽くし蝶になる

紫の園

アルバムに彼のサインのある一葉

吉田州花

なんだかなあなんだかなあって草むしる

熊谷冬鼓

病葉と呼ぶな僕にも明日はある

村井規子

■会費拝受【11月受付分】

守田啓子（三沢市） / 熊谷冬鼓（青森市）

■おかじょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

〒039-3502 青森市久栗坂浜田 87-2

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

終着駅 Sin

◆あけましておめでとうございます。今年も、よろしく願ひいたします◆さて、第26回杉野十佐一賞が決定いたしました。大賞句は中前棋人さんの「電柱にかわつてくれと頼まれる」でした。大賞、おめでとうございます！中前さんはなんと80代ということで、受賞のことばを読んでも、若いなーと感心しきりです（笑）◆今回のお題が「変」ということで、作りやすかったのか、句の内容もレンジが広がった分、少し全体的に濃度が薄くなったなという印象でした。題の振り幅が広い分、無理に深さを目指さなくても、横に動けるような感覚なのかもしれない。大賞句については、中前さんの受賞の言葉内に「オレをそんなにけつ飛ばすな」とありますが、そんなに普段から電柱を蹴飛ばしている人も珍しいかと（笑）

◆いま世界はコロナ禍で歴史的な時代を生きている。そこに電柱からかわつて欲しいと頼まれたという。でも、それはもしかしたら、昨今の誰かを責めないと気が済まないような、そんな殺伐とした人間社会に辟易し、いっそのこと電柱にでもなりたいたいという作者にとっての願望を、電柱の願望にすり替えているかもしれないと感じた。それを電柱の願望として早く電柱に言わせるために「ほら、早く言えよー」と毎日蹴飛ばしていたのかもしれない（笑）そんな「電ハラ」（「電柱ハラスメント」の略）のような一コマを想像したら、とても面白い瞬間だなと笑えた◆えーオミクロン株はさておき（汗）、今年一年、皆様のご健康とご健吟をお祈りして、わたくしの新年のあいさつとさせていただきます。m(..)m トモ◆ Sin

□ 2022.01.15 第10回卑弥呼の里誌上川柳大会

【課題・選者】（各2句）『自由吟』津田暹・大西泰世共選 / 『変化』濱山哲也・鈴木順共選 / 『試す』阪本高士・樋口由紀子共選 / 『ポスト』横尾信雄・赤松ますみ共選 / 『夜』村山浩吉・木本朱夏共選【参加費】1,000円（切手不可）発表誌呈（4月初旬発送予定）【締切】令和4年1月15日（土）消印有効【投句先】〒842-0103 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲 2426-2 卑弥呼の里川柳会 真島久美子 電話・FAX 0952-52-1061【賞】各題特選1句に有田焼 / 各題佳作5句に図書券（その他サプライズ賞あり）【主催】卑弥呼の里川柳会【協力】毎週 Web 句会

□ 2022.01.31 2022年青森縣川柳年鑑「ねぶた」作品募集

【応募資格】青森県在住または青森県内の結社に所属している方【応募料】3,000円（切手不可）【対象作品】残しておきたい自選10句・作品にタイトル（タイトル無しも可）【応募用紙】所定用紙またはA4用紙に楷書で、住所・氏名（姓と柳号・本名）・電話番号・年齢・性別・柳歴・所属結社（2社まで）【掲載内容】A5版の冊子に、作品・姓と柳号・住所・電話番号・所属結社（住所・電話番号の掲載は任意、その他はデータ資料として活用）その他不浪人賞、年度賞、蝶五郎賞、文芸コンクール、新聞の柳壇、東奥青少年少女文芸大会、各大会の記録・各結社の呈賞・柳壇トピック等【応募期間】2021年10月～2020年1月末日【発表】2022年4～5月予定【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森県川柳連盟 年鑑係【問合わせ】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也（電話）080-5574-9297

□ 2022.01.31 第5回水の都まつえ誌上川柳大会

【兼題】「自由吟」2句詠（8名による共選）【選者】奈良一艘（青森） / 井上一筒（大阪） / くんじろう（大阪） / 新家完司（鳥取） / 笹田かなえ（青森） / 米山明日歌（静岡） / 八上桐子（兵庫） / 樋口由紀子（兵庫）【締切】令和4年1月31日（月曜日）（当日消印有効）厳守【参加費】1口1,000円（切手不可・小為替等で） / 大会誌呈 \* 一人何口でも参加可能です。【投句用紙】投句用紙（コピー可）、または自由用紙（自由吟2句・雅号・本名・住所・電話）をご使用ください【投句先】〒690-0001 松江市東朝日町 206-7 石橋芳山 迄 Tel 090-2003-5846【賞】1句のポイント制として上位10位までに商品を設けます（松江市特産品等）



# おかじょうき川柳社 作品募集案内

## □ 2022.01.12 「川柳吟行会 ぼ」1月句会

【投句締切】1月12日(第2水曜日)【題・投句数】『香』3句【合評会】1月19日(第3水曜日)アウガ5階で14:30～【投句先】[toko@okajoki.com](mailto:toko@okajoki.com)  
熊谷冬鼓宛 \*それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。選評等は後日月刊おかじょうきに掲載。メール交換できる方なら会員以外でも参加可。

## □ 2022.01.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句(3月号分)

【締切】1月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】3/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>  
【メールでの投句】[moriko@okajoki.com](mailto:moriko@okajoki.com) 守田啓子宛

## □ 2022.02.05 おかじょうき川柳社本社2月句会

【時】2月5日(土)午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】2月4日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『ミラー』/『未』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句「記号を使った句」1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/> 【メールで直接送信投句】[moriko@okajoki.com](mailto:moriko@okajoki.com) (守田啓子) ■句会参加の際は新型コロナ感染対策に協力願います。

## □ 2022.02.09 「川柳吟行会 ぼ」2月句会

【投句締切】2月9日(第2水曜日)【題・投句数】『窓』3句【合評会】2月16日(第3水曜日)アウガ5階で14:30～【投句先】[toko@okajoki.com](mailto:toko@okajoki.com)  
熊谷冬鼓宛 \*それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。選評等は後日月刊おかじょうきに掲載。メール交換できる方なら会員以外でも参加可。

## □ 2022.02.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句(4月号分)

【締切】2月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】4/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>  
【メールでの投句】[moriko@okajoki.com](mailto:moriko@okajoki.com) 守田啓子宛

